SONY®

4-085-115-**14** (1)

トリニトロン®
カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FD Trinitron

KV-21DS55/KV-25DS55/KV-29DS55

イラストはKV-25DS55を使用しています。

Actual total number:　Sony KV-21DS55/25DS55/29DS55 (J) 4-085-115-**14**(1) [NewCID Font]

目次

この取扱説明書でのBS放送の表記について

BS
従来からのBSアナログ放送（NHK衛星第一／第二、NHK ハイビジョン、WOWOW）です。
例：BS放送、BSチャンネル、BSアンテナ、BSチューナー、BS チューナー内蔵ビデオなど

BSデジタル
2000 年 12 月に本放送が開始されたBS デジタル放送です。
例：BS デジタル放送、BS デジタルチャンネル、BS デジタルチューナーなど

ハイビジョン放送
従来のBS9チャンネル（MUSE方式）の放送です。
BSデジタル放送で行われるデジタルハイビジョン放送（HD 放送）ではありません。

テレビの接続と準備

他機との接続

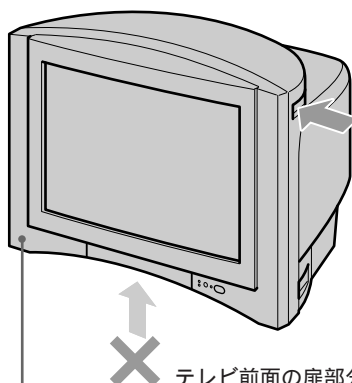
その他

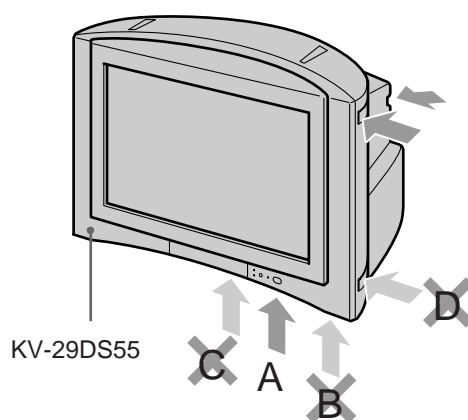
ご使用になる前に

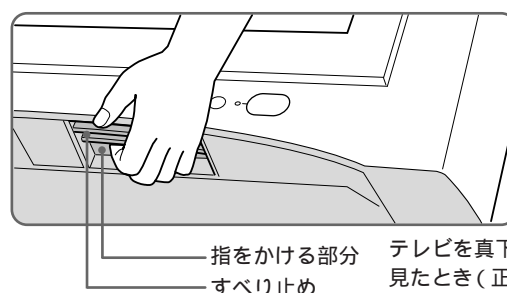
テレビを運ぶとき

テレビを持ち運ぶときは、必ず下の図の矢印部分（⬆）を持ってください。
それ以外の部分を持つと、設置時にテレビとスタンドの間に手や指などをはさんで、けがの原因となることがあります。

KV-21DS55/KV-25DS55を持つときは

持つところは下の図のように片側１か所です。
2人で運ぶことをおすすめします。
特に正面側が重いので、倒れないように十分注意してください。

KV-29DS55を持つときは

持つところは、下の図のように片側3か所ずつあります。
必ず2人以上で運んでください。
特に正面側が重いので、倒れないように十分注意してください。

テレビ前面部分を持つときは

必ず上の図のAの部分を持ってください。
指先ですべり止めの位置を確認し、手のひらをすべり止めにあてて、しっかり持ってください。

A以外の部分（BやCやD）は、持たないでください。次のようなことがあり危険です。

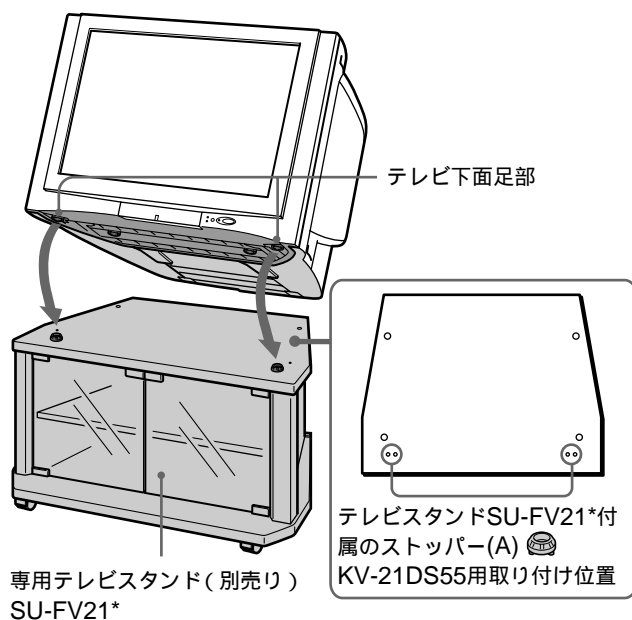
- B 設置時にテレビと床やスタンドとの間で手や指などをはさんで、けがの原因となることがあります。
- C 扉がはずれることがあります。
- D 指をかける部分が少ないため、指に負担がかかってテレビを落としたり、けがの原因になることがあります。

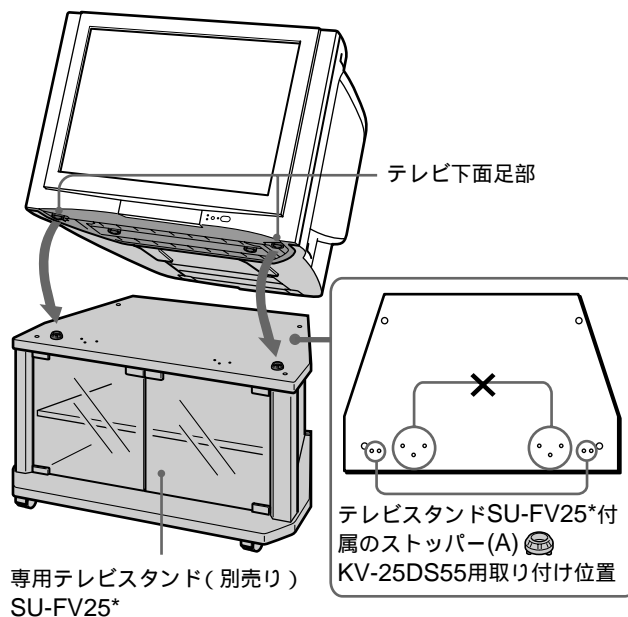
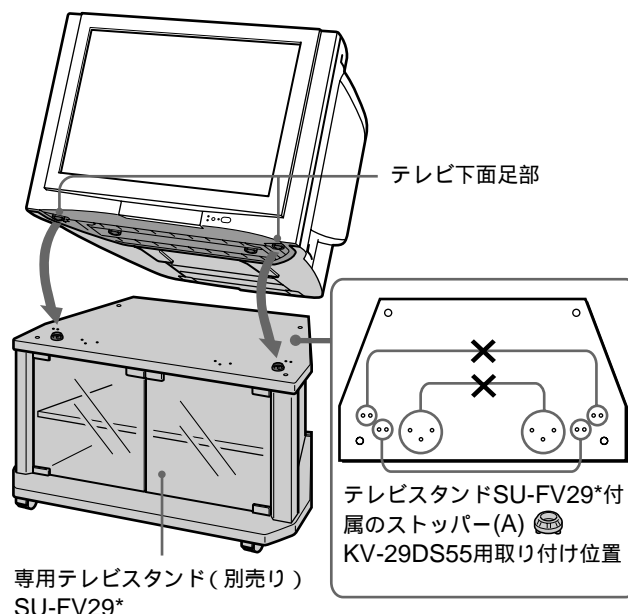
テレビの転倒を防ぐために

お子様が、テレビスタンドなどに載せたテレビに登ったり、テレビを押したりすると、テレビスタンドなどから、テレビが落ちる恐れがあります。
以下の方法にしたがって、テレビの転倒を防いでください。

専用のテレビ台を使うときは

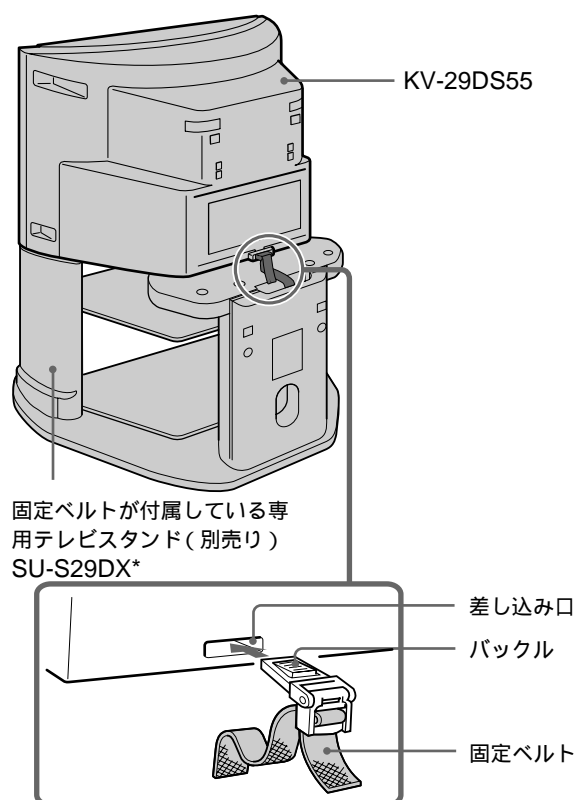
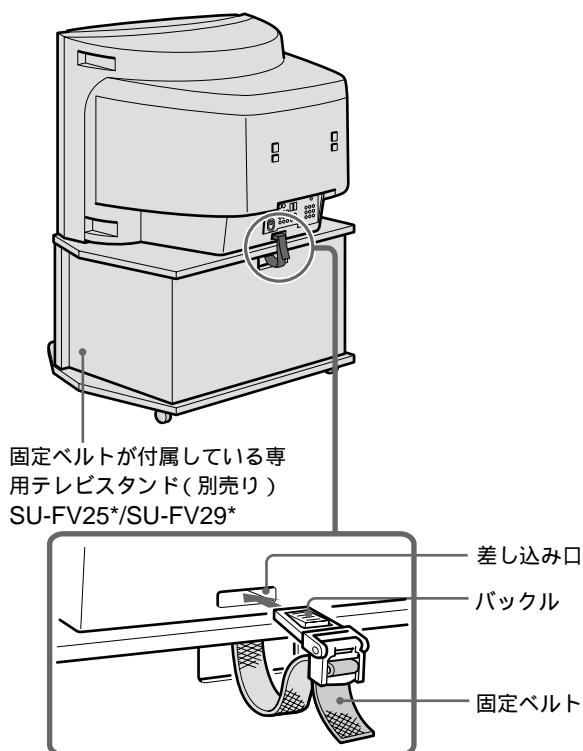
① テレビスタンドのストッパーに、テレビ下面の足部を合わせて載せる。
専用テレビスタンド（別売り）の取扱説明書もあわせてご覧ください。

KV-21DS55を専用テレビスタンド（別売り）SU-FV21*に載せるとき

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

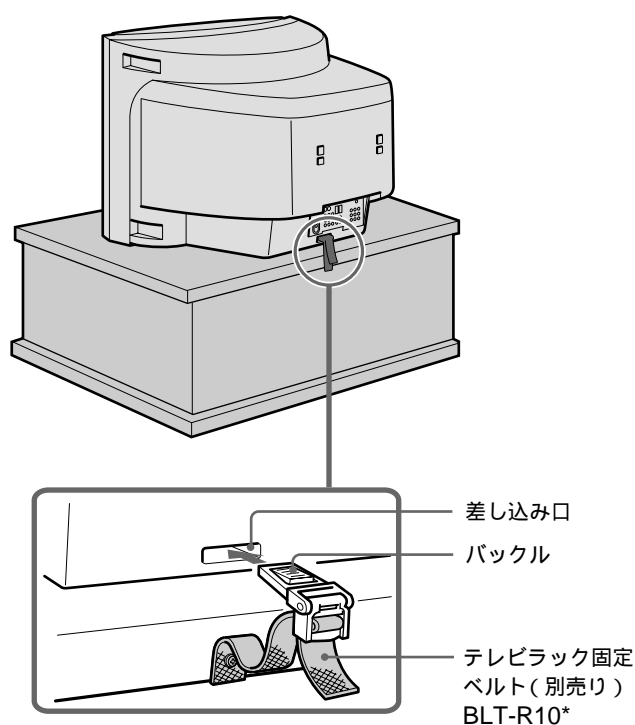
KV-25DS55を専用テレビスタンド（別売り）SU-FV25*に載せるとき

KV-29DS55を専用テレビスタンド（別売り）SU-FV29*に載せるとき

ご注意

付属のストッパー以外は使わないでください。また、ストッパーは正しい位置に取り付けてください。

次のページにつづく

② テレビスタンドに付属している固定ベルトのバックルを、テレビ後面の差し込み口にカチッと音がするまで差し込む。
（KV-25DS55/KV-29DS55のみ）

市販のテレビスタンドやラックを使うときは（KV-25DS55/KV-29DS55のみ）

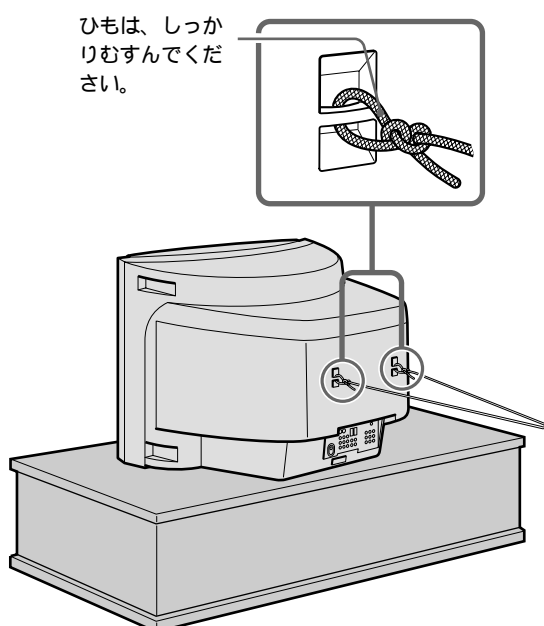
別売りのテレビラック固定ベルトBLT-R10*で固定してください。
テレビラック固定ベルトのバックルを、テレビ後面の差し込み口にカチッと音がするまで差し込んでください。
市販のスタンドやラックに設置する場合は、テレビの底面よりも広くて水平なスタンドやラックをお使いください。また、耐重量や載せられるサイズも必ずご確認ください。
詳しくは、テレビやテレビスタンド、ラックをお買い上げいただいたお店にご相談ください。

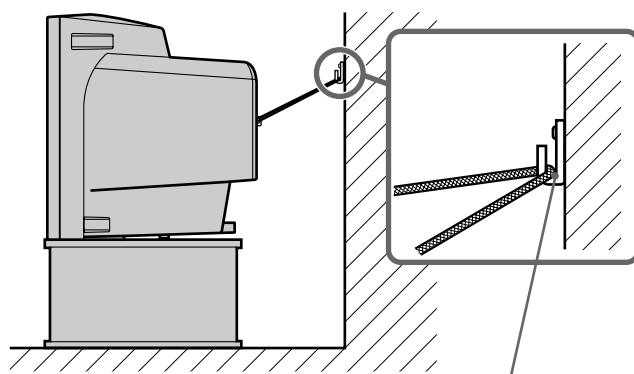
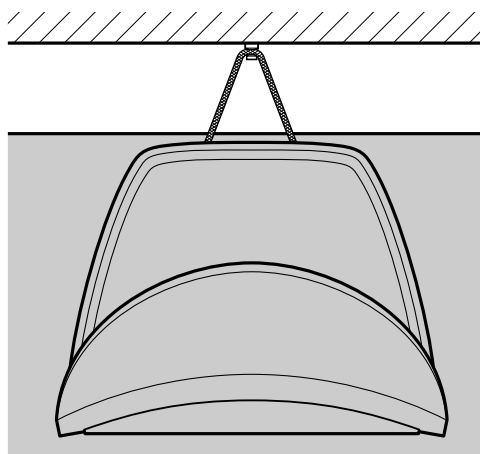
ご注意
段差やデコボコ、うねりがある台に置かないでください。キャビネットの変形やきしみの原因になり、テレビが破損することがあります。

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

市販のひもやクサリなどで固定するときは

丈夫なひもやクサリなどを、テレビ後面の2つの穴に通して、壁や柱などに固定してください。

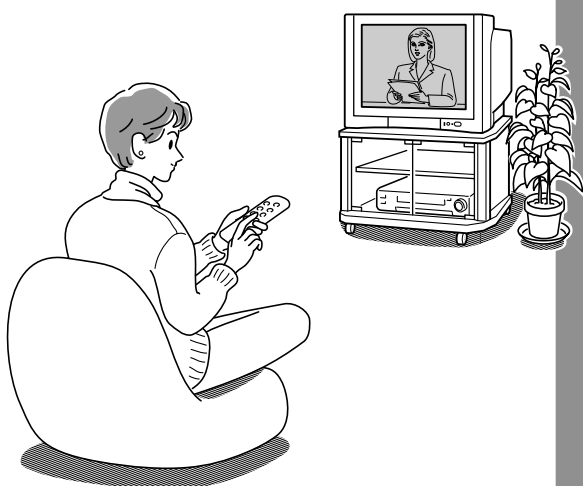
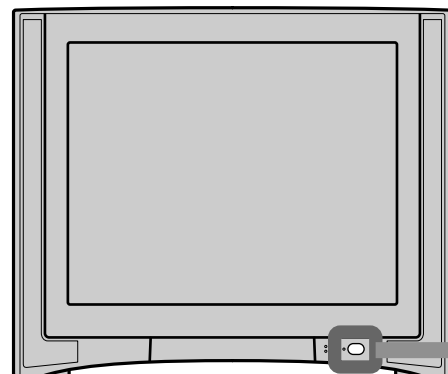
詳しくは、テレビやテレビスタンド、ラックをお買い上げいただいたお店にご相談ください。

① 丈夫なひもやクサリなどを、テレビ後面の穴に通して、しっかり付ける。

② 壁や柱などの安定した場所に、①で取り付けたひもやクサリなどを、しっかり固定する。

横から見たところ

上から見たところ

テレビは壁から10cm以上離して設置してください

壁から10cm以上離して置いてください。風通しをよくするためです。壁などに近づけ過ぎて、空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。また、通風孔がふさがれると、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

見る

ここでは、通常のテレビやBS放送をはじめ、ビデオやテレビゲームなどテレビにつないだ機器の映像を見るときの操作を説明しています。
画質を選んだり、節電しながら見たり、横長の画面にしたりするなど、多彩な機能の操作も説明しています。

テレビ/BS放送を見る

消音ボタン
一時的に音を消すときに押します。
もう1度押すか、音量＋ボタンを押すと音が出ます。

画面表示ボタン
チャンネル表示を出すときに押します。
もう1度押すと表示は消えます。

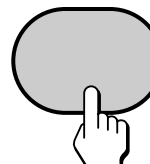
チャンネル数字ボタンには、暗い場所でも操作しやすいように、ほのかに青白く光る蓄光材が入っています。そのため、太陽光や明るい照明の下などに約10分間以上置くと光が蓄えられ、暗くなると数時間光り続けます。暗い場所に放置したときは、光りません。

ちょっと一言

- スタンバイ/オフタイマーランプが点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネル+/−ボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります（チャンネルポン機能）。
- 省電力のため、放送が終了して（または放送のないチャンネルにしたまま）約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。
  放送局の信号によっては「オートシャットオフ」機能が働かないものもあります。

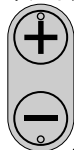
1 テレビの電源を入れる。

スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは
リモコンの電源スイッチを押す。

スタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは
テレビ本体の電源スイッチを押す。

地磁気*などの影響を取り除く自動消磁機能により「ブーン」という音がして、きれいに安定された画像が約10秒前後で映ります。

* 地球が一つの大きな磁石となって発生する磁場で、方位磁石が南北を示すのも地磁気によるものです。色むらの原因になることがあります。

2 チャンネル数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

チャンネル+/−ボタンでもチャンネルを選べます。

BS放送は以下のチャンネルになります。

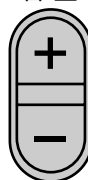
見たい放送	押すボタン
WOWOW（BS5）*1	BS5 /13
NHK衛星第一（BS7）	BS7 /14
ハイビジョン放送（BS9）*2	BS9 /15
NHK衛星第二（BS11）	BS11 /16

*1 BSデコーダー（WOWOW）の電源を入れてください。なお、WOWOWは、別途WOWOWと受信契約し、専用のBSデコーダー（WOWOW）が必要です。

*2 BS9ボタンを押してハイビジョン放送を見るには、別売りのMUSE-NTSCコンバーターが必要です（☞54ページ）。通常のテレビ放送（NTSC）と同じ画質で、見ることができます。

3 音量+/−ボタンで音量を調節する。

ちょっと一言

音量表示の上にある数値も調節の目安になります。

部屋の明るさに合った映像を選ぶ

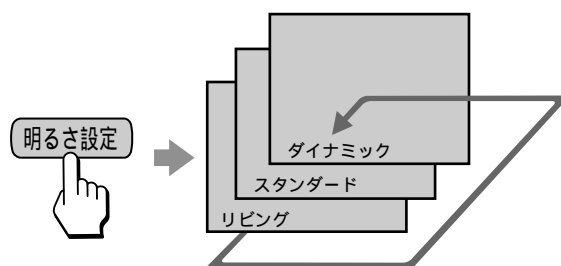
[明るさ設定ボタン]

明るさ設定ボタンを押すだけで、部屋の明るさや映像の内容に合わせた画質設定を選べます。この画質設定は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごと*に設定できます（通常のテレビ放送とBS放送も別々に設定できます）。また、「リビング」を選ぶと、画質をより細かく調整できます（☞18ページ）。

ご家庭で通常ご覧になるときは、「リビング」を選ぶことをおすすめします。

* ただし、以下のときは共通になります。
- コンポーネント1（D端子）とコンポーネント2（D端子）のとき
- 入力切換ボタンで切り換えたAVマルチRGBとAVマルチY/CB/CRのとき
- ゲーム切換ボタンで切り換えたAVマルチ（ゲーム）RGBとAVマルチ（ゲーム）Y/CB/CRのとき

明るさ設定ボタンをくり返し押す。

1回押すと、現在の明るさ設定が表示されます。その後押すたびに、次のように切り変わります。

ダイナミック
映像の輪郭とコントラストを最大限に上げたメリハリの非常に強い映像になります。

スタンダード
明るめの部屋に合わせたコントラスト感のある映像になります。

リビング
明るさや色あい、色の濃さなど基本的な調整ができます（☞18ページ）。「標準」では、標準的な部屋の明るさに合わせた適度なコントラストのある映像になります。

サラウンドを楽しむ

[サラウンドボタン]

サラウンドボタンを押して、ゲームや、映画に適した音質を選べます。
音質設定は各入力共通の設定になります。
通常の音質は「サラウンド　切」を選ぶことをおすすめします。

サラウンドボタンを繰り返し押す。

1回押すと、現在の音質設定が選択されます。その後押すたびに、次のように切り変わります。

「ゲームサラウンド（WOW）」
WOWの搭載により、豊かで質の良い低音とクリアな高音が再現でき、更にサラウンド効果によってゲーム・センターのような立体的で大迫力のゲーム音になります。
「ゲームサラウンド」では、BBEハイディフィニションサウンドがフル作動して、サウンドエフェクトを最大限に盛り上げます。

「映画サラウンド（TruSurround）」
TruSurroundの搭載により、本機左右のスピーカーから映画館にいるような臨場感あふれる音を再現します。

ご注意
サラウンドボタンで「ゲームサラウンド（WOW）」や、「映画サラウンド（TruSurround）」を選ぶと、次にサラウンドボタンで音質を選び直すまで、同じ音質が選ばれたままになります。目的にあった音質を選ぶと、より効果的な音質を楽しめます。
「WOW」は米国SRS Labs社が独自に開発した最新技術を使うことにより、PCやゲーム機などの身の回りの多種多様な音響製品の音質を飛躍的に向上させます。
「TruSurround」とは独自の伝達関数を使った信号処理によって後方のスピーカーを仮想的に配置します。

節電しながら見る

[消費電力ボタン]

画面の明るさを下げて、節電しながら見ることができます。

消費電力ボタンを押す。

節電中になります。

節電をやめるには

もう1度、消費電力ボタンを押す。
「消費電力:標準」と表示されます。

さらに節電するには

節電レベルの大小を選べます。
「消費電力：標準」のときは、設定できません。

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「消費電力減レベル」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「小」（お買い上げ時の設定）または「大」を選び、決定ボタンを押す。**
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ちょっと一言

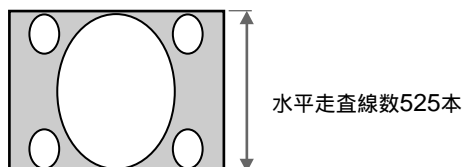
- 「消費電力:減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力:減」のままになります。
- お好み画質で「リビング」を選んでいるときは、「消費電力:減」でも、画質を調整できます（☞18ページ）。ただし、「ピクチャー」や「明るさ」を上げると節電にならなくなる場合があるため、おすすめしません。

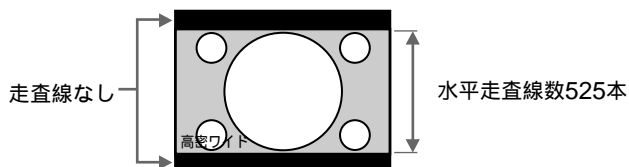
横長の画面にする
[高密ワイド]

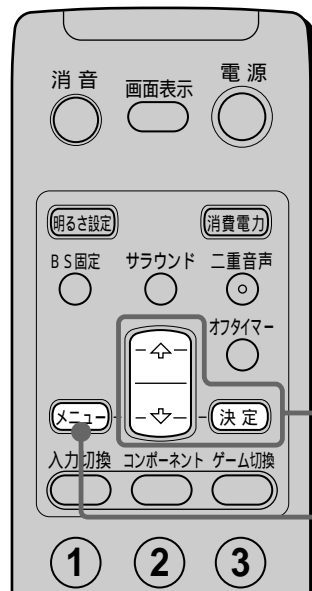
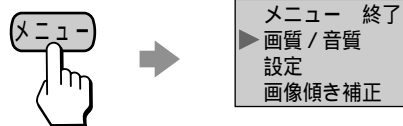
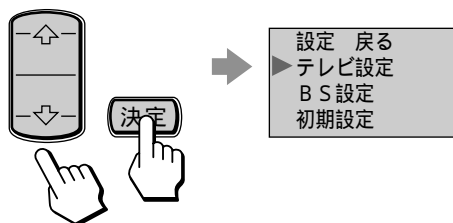
BSデジタル放送やDVDプレイヤー、ビデオカメラなどの横縦比16:9映像を縦長に記録した映像を、16:9のワイド映像に戻して見ることができます。また、画面上下の黒帯部分を除いた部分（映像が表示されている部分）に、水平走査線を集める技術によって、高密度な16:9映像をお楽しみいただけます。

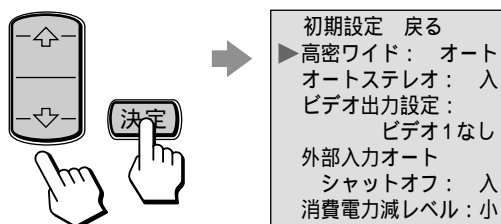
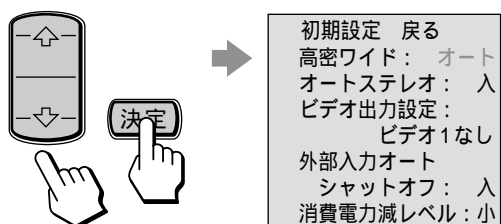
ちょっと一言

BSデジタルチューナー側の「テレビ選択」の設定を「4:3ワイドモード」や「16:9」などに合わせてください。また、DVDソフトやビデオカメラで記録されたワイド（スクィーズ）映像対応の映像を見るには、各接続機器の「TVタイプ」の設定を「16:9」にしてください。詳しくは、各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

高密ワイド「切」のときの映像（16:9映像を縦長にした映像）

高密ワイドが働いているときの映像（16:9映像）

走査線を密にしてより高画質にします。

ちょっと一言

高密ワイド「オート」で、高密ワイドが働いたときは、画面左下部に「高密ワイド」と約3秒間表示されます。

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「高密ワイド」を選び、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

横長の画面にする（つづき）

5 ↑/↓で「オート」を選び、決定ボタンを押す。

通常は、「オート」（お買い上げ時の設定）にしておいてください。
D1映像入力端子からの横縦比の信号（D1映像入力端子からのBSデジタル放送や、ID-1/S1方式）を自動判別して縦方向を圧縮した横縦比16:9のワイド画面にし、それ以外の映像はオリジナルそのままに映します。
正しく判別されるようにつないでください。

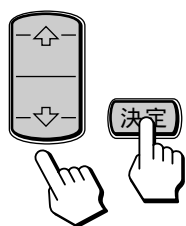
つなぐ機器の映像出力端子の種類	コードの種類
D1、D2、D3、D4映像出力端子があるときは	D映像・音声コードでつなぐ（別売り：VMC-DD20*など）
S1映像出力端子があるときは	S映像・音声コードでつなぐ（別売り：YC-810S*など）
ビデオID-1システム対応の映像出力端子があるときは	映像・音声コードでつなぐ（別売り：VMC-810S*など）

上記のいずれでもないときは、「オート」で判別されないことがあり、縦長の画像のままになることがあります。その時は、「高密ワイド：入」を選んでワイド画面にしてください。

「入」を選ぶと

すべての映像を縦方向に圧縮します。

「切」を選ぶと

すべての映像をオリジナルそのままに映します。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

高密ワイドについてのご注意

- 通常のテレビやBS放送など横縦比4:3の映像で、高密ワイドを「入」にすると、縦方向に圧縮されて不自然に見えます。
- 高密ワイド機能を、喫茶店やホテル等で、営利目的、または公衆に視聴させる目的として使用すると、著作権法で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますのでご注意願います。
- ワイドクリアビジョン放送や上下に黒帯が入っている横長の映画などのワイド画像のときは、「オート」または「切」にしてください。
  「入」を選ぶと、従来から入っていた黒帯の部分まで縦方向に圧縮されて、よりつぶれた映像になるためです。
- このテレビのBS出力端子やビデオ出力端子につないだビデオで、高密ワイドにした映像（16:9映像）をそのままの画面サイズで録画することはできません。テレビのBS出力端子やビデオ出力端子からは、元のオリジナル映像（16:9映像を縦長に圧縮した映像）の信号で出力されるためです。

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

テレビにつないだ機器の画像を見る

［入力切換ボタン］

入力を切り換えて、テレビにつないだビデオ機器やテレビゲーム、デジタルCS放送などの画像を見ることができます。接続のしかたについては、☞41〜58ページをご覧ください。

1 入力切換用のボタンを押して、見たい画面を選ぶ。

ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わります。

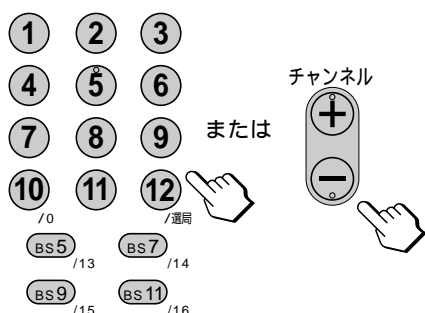
押すたびに	以下につないだ機器の画像になります。	画面表示も変わります。
入力切換	● ビデオ1入力端子	ビデオ1*2 ←
		↓
	● ゲーム/ビデオ2入力端子	ビデオ2*2
		↓
	● ビデオ3入力端子	ビデオ3*2
		↓
	● BSデコーダー/ビデオ4入力端子*1	ビデオ4
		↓
	● コンポーネント入力端子	コンポーネント1（D端子）
		↓
		コンポーネント2（D端子）
		↓
	● AVマルチ入力（ゲーム）端子	AVマルチRGB
		↓
		AVマルチY/CB/CR
		↓
		チャンネル番号（テレビ）
コンポーネント	● コンポーネント1入力端子	コンポーネント1（D端子）
		↕
	● コンポーネント2入力端子	コンポーネント2（D端子）

*1 お買い上げ時は、ビデオ4入力は選べない設定になっています。BSデコーダー/ビデオ4入力端子にビデオ機器などをつなぎ、「デコーダー/ビデオ」の設定を「ビデオ4」に変えると選べます（☞44ページ）。

*2 S1映像端子につないでいるときは、「Sビデオ1」、「Sビデオ2」、「Sビデオ3」と表示されます。

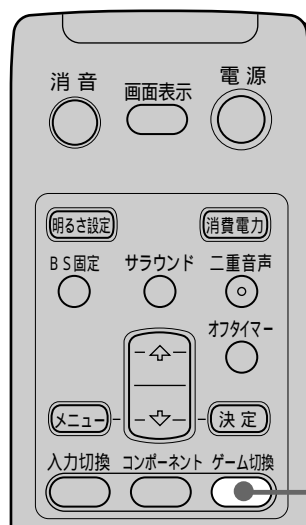
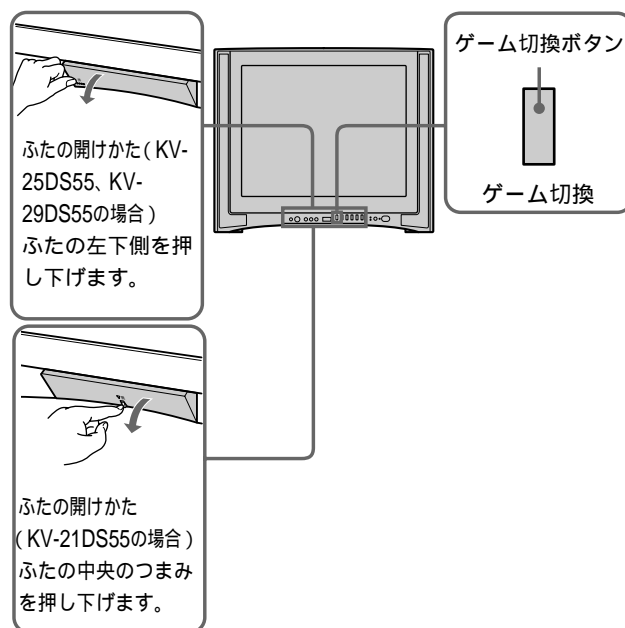
次のページにつづく

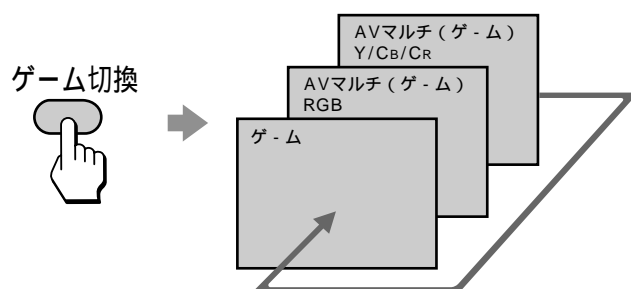
2 **接続している機器を操作する。**
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すときは
チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋/−ボタンを押す。

ちょっと一言
テレビ本体の入力切換ボタンをくり返し押して、入力を切り換えることもできます。

テレビゲームをする [ゲーム切換ボタン]

ゲーム切換ボタンを押すと、ゲーム/ビデオ2入力端子やAVマルチ入力（ゲーム）端子につないだテレビゲーム機器画面に切り換わります。
テレビゲームや“ プレイステーション 2 ”、“ プレイステーション ”(PS one) および“ プレイステーション ”の取扱説明書もあわせてご覧ください。

“ プレイステーション ”は、（株）ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
また、“ PS one ”は同社の商標です。

ゲーム入力とAVマルチ入力（ゲーム）を切り換えるには

ゲーム切換ボタンをくり返し押す。
ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだゲーム機の画像に切り換わります。

AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション 2”を使うには

ゲーム切換ボタンをくり返し押して、“プレイステーション 2”の映像が出る入力（「AVマルチ（ゲーム）RGB」または「AVマルチ（ゲーム）Y/CB/CR」）にする。

ご注意

下の表のように、“プレイステーション 2”側の設定にテレビ側のAVマルチ入力を合わせてください。設定が異なっていると、映像が乱れたり、正しく表示されないことがあります。

“プレイステーション 2”側のシステム設定画面で「コンポーネント映像出力」が	テレビ側のAVマルチ入力を
「RGB」のときは、	ゲーム切換ボタンで**「AVマルチ（ゲーム）RGB」**にする。
「Y Cb/Pb Cr/Pr」のときは、	ゲーム切換ボタンで**「AVマルチ（ゲーム）Y/CB/CR」**にする。

AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション”(PS one) および“プレイステーション”を使うには

ゲーム切換ボタンをくり返し押して、「AVマルチ（ゲーム）RGB」を選ぶ。

ご注意

- AVマルチ入力端子は、RGB、Y/CB/CR映像信号のため、ビデオ入力端子に比べて色の帯域が広くなっています。色あいが異なる場合がありますが、テレビに影響はありません。
- ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB、Y/CB/CR映像信号に適していないものもあります。
- 将来の“プレイステーション 2”用の高解像度ゲームソフトなどには、このテレビは対応していません。
  詳しくは、各ソフトウェアの解説書をご覧ください。

テレビの画面に戻すときは

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋/－ボタンを押す。

ゲームの画面の左右位置を調整するには

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「ゲーム画面位置」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で画面の左右位置を調整する。**
4. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

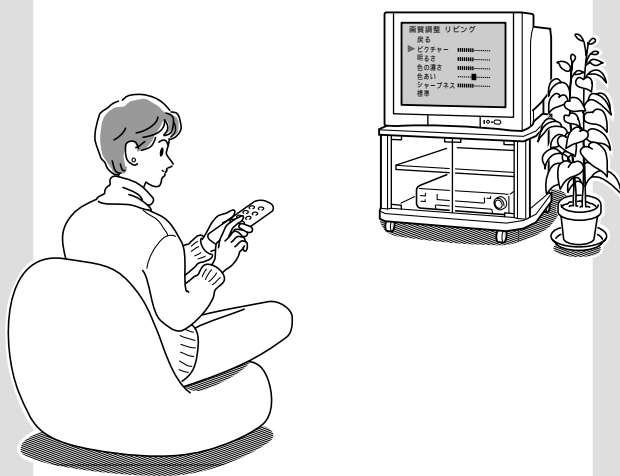
ちょっと一言

ゲームの画質調整は、テレビゲーム使用後も他の画質調整とは別にそのまま本体に記憶されます（☞18ページ）。

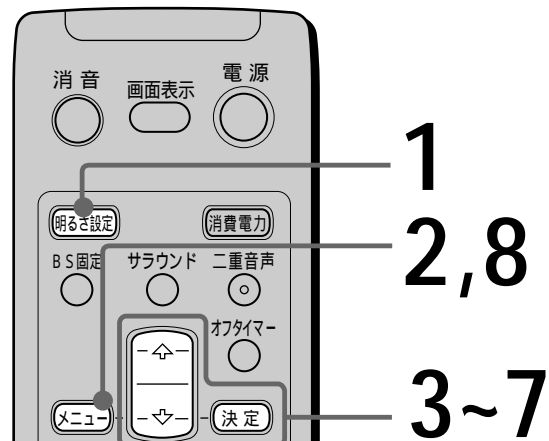
ご注意

「ゲーム画面位置」はゲーム切換ボタンで切り換えた「AVマルチ（ゲーム）RGB」、「AVマルチ（ゲーム）Y/CB/CR」、「ゲーム」の画像のみ調整できます。

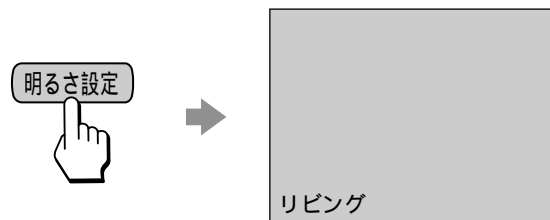
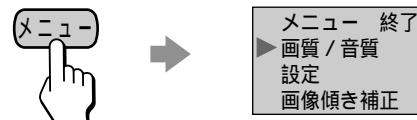
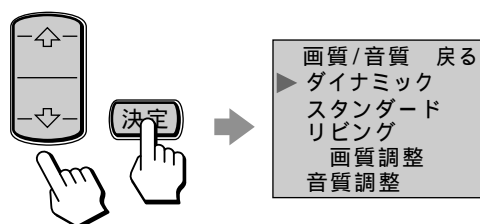
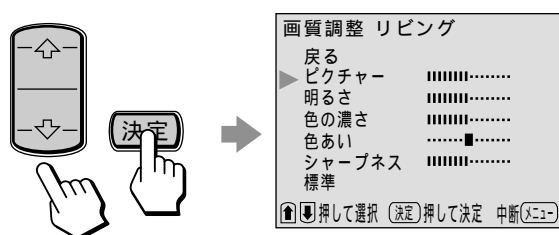
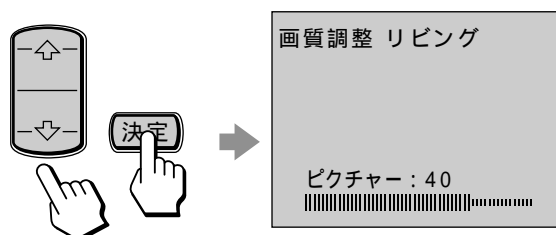
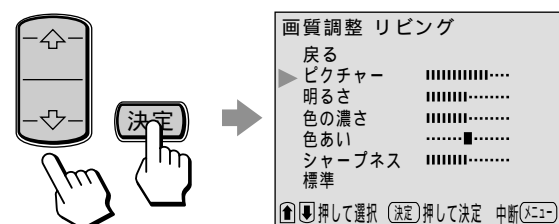
調整する/設定する

ここでは、画質や音質を調整する応用的な操作を説明しています。
BS放送をビデオに録画したり、予約録画したりするときの操作も説明しています。
また、テレビに内蔵されているタイマーを使って、自動的に電源を切ったりする操作も説明しています。

画質を調整する

明るさ設定ボタンで「リビング」を選ぶ（☞10ページ）と、画質をより細かく調整できます。
画質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごと*に設定できます（通常のテレビ放送とBS放送も別々に設定できます）。

* ただし、以下のときは共通になります。
  – コンポーネント1（D端子）とコンポーネント2（D端子）のとき
  – 入力切換ボタンで切り換えたAVマルチRGBとAVマルチY/CB/CRのとき
  – ゲーム切換ボタンで切り換えたAVマルチ（ゲーム）RGBとAVマルチ（ゲーム）Y/CB/CRのとき

1 明るさ設定ボタンをくり返し押して、「リビング」を選ぶ。

2 メニューボタンを押す。

メニュー　終了
▶画質／音質
設定
画像傾き補正

3 ↑/↓で「画質/音質」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「画質調整」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で調整し、決定ボタンを押す。

項目	↑ を押すと	↓を押すと
ピクチャー	明暗の差が大きくなる	明暗の差が小さくなる
明るさ	明るくなる	暗くなる
色の濃さ	濃くなる	薄くなる
色あい	緑がかる	赤みがかる
シャープネス	映像の輪郭がくっきりする	映像の輪郭が柔らかくなる

ちょっと一言

調節バーの上に表示される数値も調節の目安になります。

7 他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

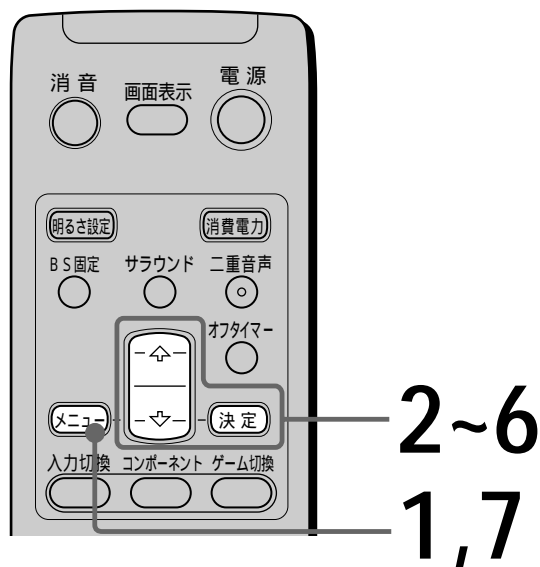
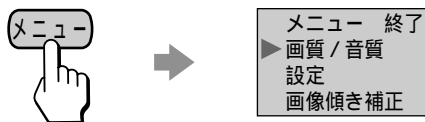
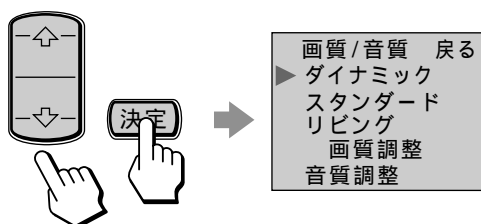
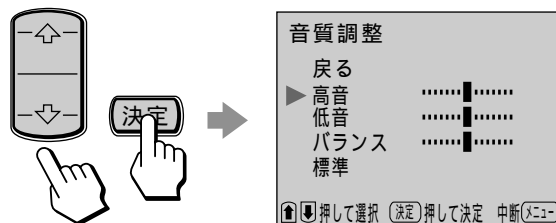
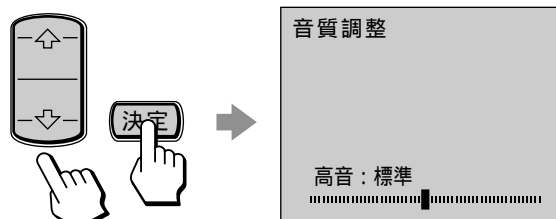
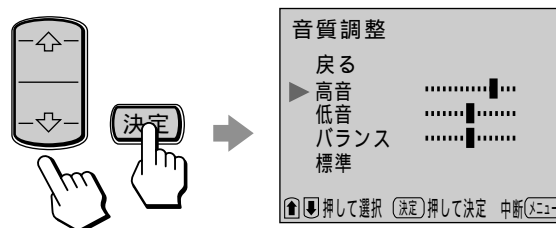
手順5で、「標準」を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

- 「ダイナミック」と「スタンダード」（☞10ページ）では、画質調整できません。
- AVマルチRGBとAVマルチ（ゲーム）RGBのときは、「色の濃さ」と「色あい」、「シャープネス」は調整できません。

音質を調整する

音質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごと*に設定できます（通常のテレビ放送とBS放送も別々に設定できます）。

* ただし、以下のときは共通になります。
- コンポーネント1（D端子）とコンポーネント2（D端子）のとき
- 入力切換ボタンで切り換えたAVマルチRGBとAVマルチY/CB/CRのとき
- ゲーム切換ボタンで切り換えたAVマルチ（ゲーム）RGBとAVマルチ（ゲーム）Y/CB/CRのとき

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「画質/音質」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「音質調整」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で調整し、決定ボタンを押す。

項目	↑を押すと	↓を押すと
高音	強くなる	弱くなる
低音	強くなる	弱くなる
バランス	右スピーカーの音が強くなる	左スピーカーの音が強くなる

ちょっと一言

調節バーの上に表示される数値も調節の目安になります。

6 他の項目を調整するときは、手順4と5をくり返す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

手順4で、「標準」を選び、決定ボタンを押す。

音声を切り換える

[二重音声ボタン]

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。

二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに下表のように切り換わります。

画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
主	主音声	主音声
副	副音声	副音声
主/副	主音声	副音声

例：「主/副」を選んだとき

VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、雑音を軽減できます。

1. **雑音の多いチャンネルを映した状態で、メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「切」にして、決定ボタンを押す。**
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

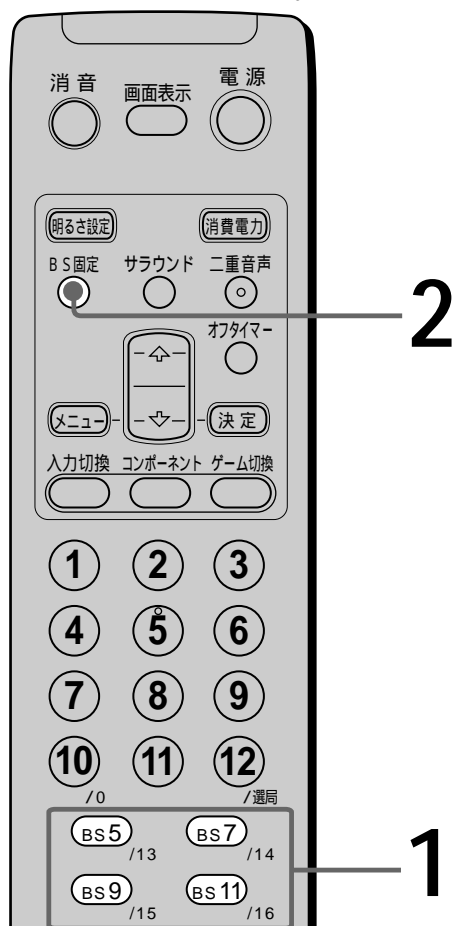
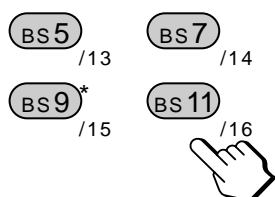
ちょっと一言

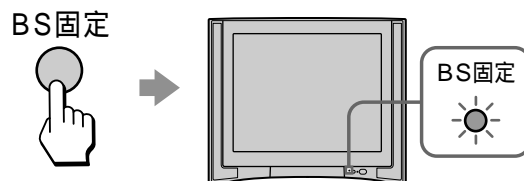
BS放送では放送内容により、以下の音質表示が画面右上に出ます。

- 「A」：Aモード（FM放送とほぼ同じ音質）を受信。
- 「B」：Bモード（Aモードより高音質でCDとほぼ同じ音質）を受信。
- 「独立」：BS5チャンネルのSt.GIGA（独立音声放送）を受信。
- 「ステレオ」：ステレオ放送を受信。（通常のテレビ放送でも表示）

なお、AモードとBモードは、番組内容に応じて放送局側が使い分けて送信するものを、テレビが自動的に判別して受信するため、二重音声ボタンなどで切り換えることはできません。

BS放送を録画/予約録画する
[BS固定ボタン]

このテレビ内蔵のBSチューナーで、BS放送をテレビにつないでいるビデオに録画できます。また、録画するBSチャンネルを固定させて、裏録画や48時間以内の予約録画もできます。
あらかじめ、「ビデオをつなぐ」(☞43ページ)をしておいてください。

1 **録画したいBSチャンネルを選ぶ。**

* **ハイビジョン放送(BS9チャンネル)を録画するときは**
MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ必要があります(☞54ページ)。詳しくは、必ずMUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書をご覧ください。

2 **BS固定ボタンを押す。**
テレビのBSチューナー部のBSチャンネルとBS出力端子から出る信号が固定されて、BS固定ランプが点灯します。他のBSチャンネルに切り換わらなくなります。

3 **S映像入力端子付きビデオのときは、ビデオ側で映像入力端子の信号を優先する設定にする。**
テレビのBS出力端子は映像出力端子のため、ビデオ側でS映像入力端子の信号を優先する設定にしてあると、映像信号がビデオに入力されないため、録画されません。詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

4 **ビデオを「外部入力(ライン入力)」に切り換えて、録画を始める。**
詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

予約録画するときは
BS固定してから48時間以内の予約録画ができます。
ビデオで「外部入力(ライン入力)」を48時間以内の録画予約し、リモコンでテレビの電源を切る。
テレビの電源はスタンバイ状態のまま、BS固定したチャンネルの信号がテレビ後面のBS出力端子から48時間出力され続けます(BS固定ランプが点灯)。

ご注意
48時間より先の予約録画はできません。BS固定が解除され、BS出力端子から信号が出力されなくなるためです。

見ながら録画するときは
BS固定したBSチャンネルで、そのままお楽しみください。他のBSチャンネルには、切り換わりません。

裏番組として録画するときは
BSを録画しながら、テレビ放送（BS放送は除く）やビデオを見ることができます。見たいチャンネルやビデオ入力などを選んでください。

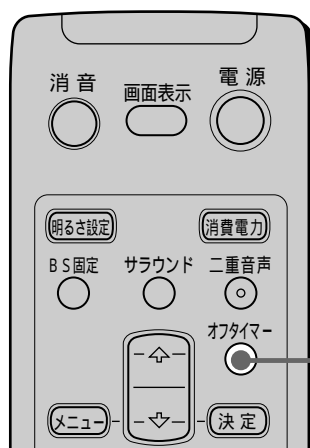
録画が終わったら／BS固定をやめるには

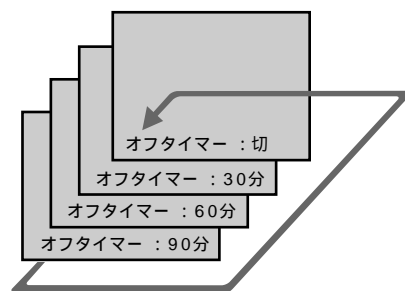
BS固定したチャンネルを選んでから、BS固定ボタンをもう1度押す。
BS固定ランプが消えます。BS固定が解除され、他のBSチャンネルを選べます。

ご注意
- テレビ本体の電源スイッチで電源を切ったり、電源コードを抜いたりすると、録画できなくなります。
- WOWOWなどスクランブル放送を録画するときは、BSデコーダー（WOWOW）の電源を入れたままにしてください。

ちょっと一言
St. GIGAなど独立音声放送を録音するときは、メニューの「BS設定」で、「TV/独立音声」を「独立」にしてください。また、BSデコーダー（WOWOW）でも独立音声を選んでください。

自動で電源を切る
［オフタイマーボタン］

テレビをつけたまま寝てしまっても、設定した時間（30分、60分または90分）が過ぎると、自動的に電源が切れます。

オフタイマーボタンをくり返し押す。

押すたびに、次のように時間が変わります。また、テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯します。

オフタイマーを途中でやめるには

オフタイマーボタンをくり返し押して、「オフタイマー：切」を選ぶ。

ちょっと一言
- オフタイマーが働いているときに、オフタイマーボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間（例:「オフタイマー： あと17分」）が表示されて、数秒後に消えます。
- 電源を入れ直したときは、「オフタイマー：切」に戻ります。

次のページにつづく

つないだ機器からの入力信号がないときに自動で電源を切る（外部入力オートシャットオフ）

省電力のため、放送終了後、または放送のないチャンネルにしたままの状態で、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。
同様に、つないだ機器からの信号がないままの状態（外部入力無信号状態）のときに、自動で電源をオフ（スタンバイモード）にするように設定できます。
お買い上げ時は、「入」に設定されています。「切」にして自動で電源をオフしないようにすることもできますが、省電力のため、通常は「入」のままで使うことをおすすめします。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「外部入力オートシャットオフ」を選び、決定ボタンを押す。

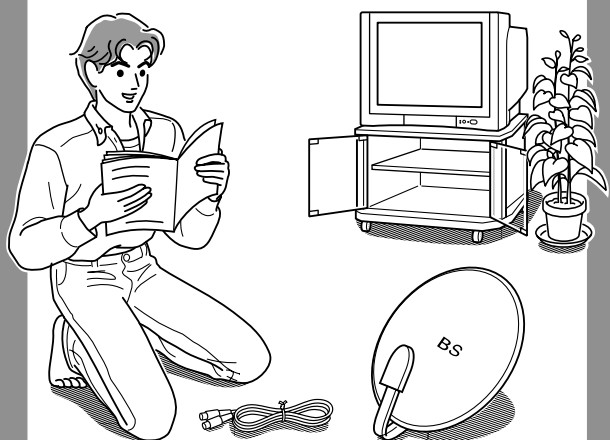
5 ↑/↓で「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

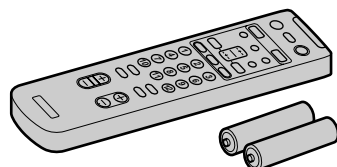
ご注意

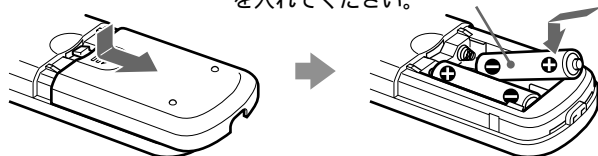
外部入力オートシャットオフが「入」のときは、つないだ機器からの映像入力信号がなくなると、数秒後音声も出なくなります。
つないだ外部機器やSt.GIGAの音声だけをテレビのスピーカーで聞くときは、必ず、外部入力オートシャットオフを「切」に設定してください。

テレビの接続と準備

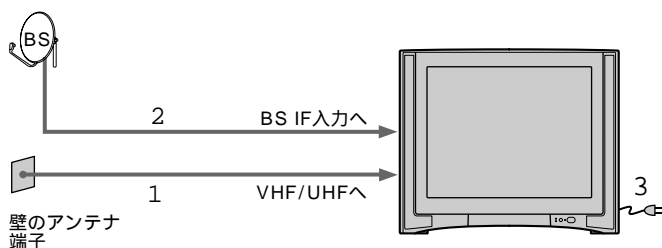
ここでは、テレビアンテナとBSアンテナのつなぎかた、およびチャンネル設定や、BS放送を見るための設定を説明しています。
手順1～5（☞28～38ページ）まで済ませれば、テレビを見ることができます。
他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」（☞41ページ）をご覧ください。

付属品を確かめる

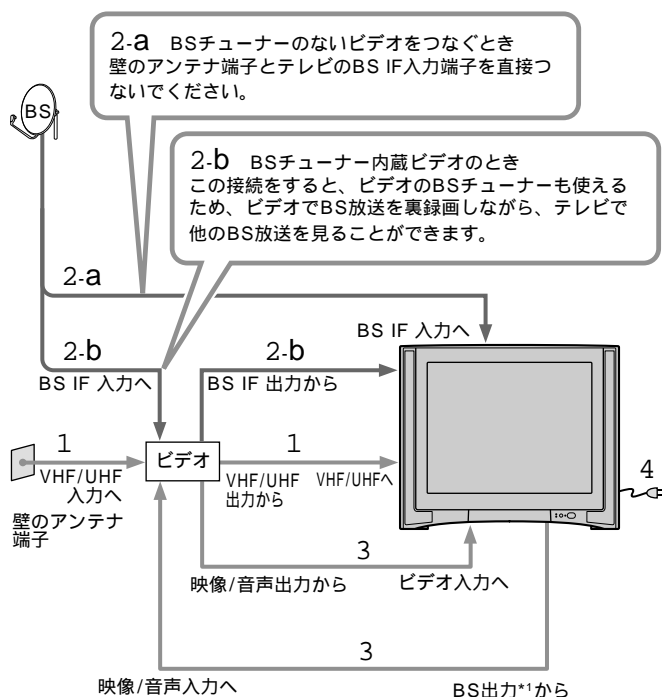
箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

リモコン（1個）と
単3形乾電池（2個）

取扱説明書
安全のために
安全点検のおすすめ
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
（各1部）

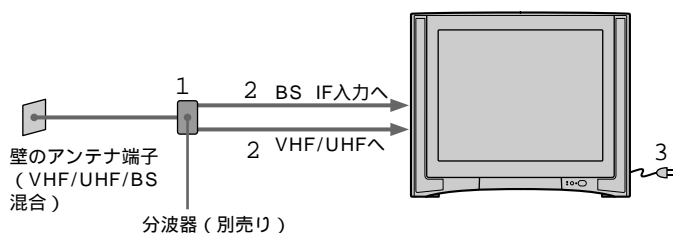
リモコンに電池を入れるには

接続と準備の早わかり

接続と準備のしかたは、放送の種類や接続する機器によって異なります。
ここでは代表的な組み合わせをあげていますので、参考にしてください。詳しくは（ ）内のページ、および接続するビデオなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。
BSアンテナの接続およびBS受信の設定は、BS放送を受信しないときは不要です。

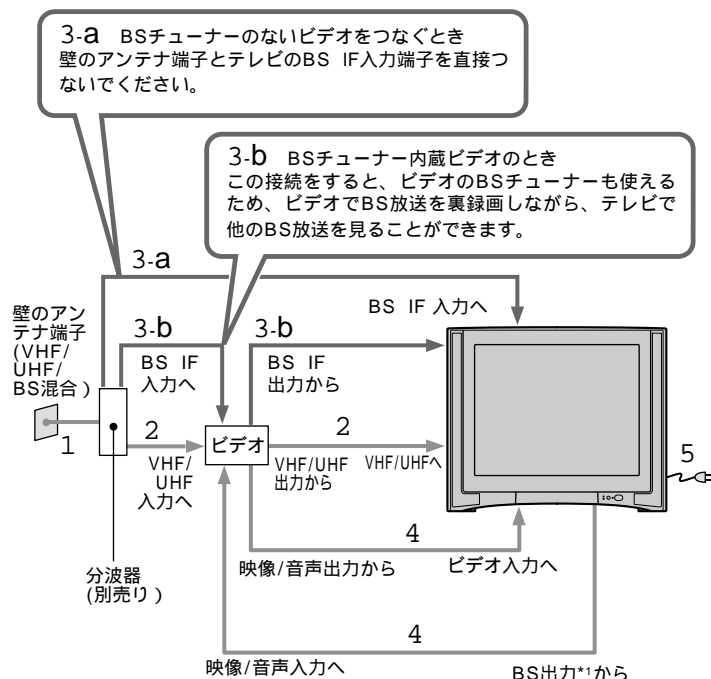
テレビ

❶ テレビアンテナをつなぐ（☞28ページ）
❷ BSアンテナをつなぐ（☞30ページ）
❸ 電源コードをつなぐ
❹ テレビチャンネルを設定する（☞32ページ）
❺ BS受信の設定をする（☞35ページ）

テレビ＋ビデオ

❶ テレビアンテナを、ビデオを経由してテレビにつなぐ（☞43〜46ページ、およびビデオの取扱説明書）
❷ BSアンテナをつなぐ
　❷-a　BSチューナーのないビデオのとき:
　　BSアンテナをテレビにつなぐ
　　（☞45ページ）
　❷-b　BSチューナー内蔵ビデオのとき:
　　BSアンテナをビデオを経由してテレビにつなぐ（☞46ページ、およびビデオの取扱説明書）
❸ ビデオをつなぐ（☞43〜46ページ）
❹ 電源コードをつなぐ
❺ テレビチャンネルを設定する（☞32ページ）
❻ BS受信の設定をする（☞35ページ）

*1　ビデオ出力端子でもつなげます。

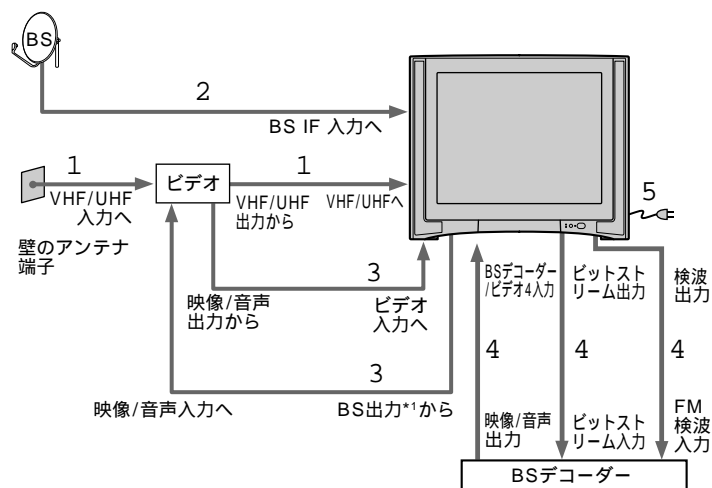
マンションなどの共同受信システム*2

❶ 分波器を使って、VHF/UHFとBSを分ける（☞29ページ）
❷ VHF/UHFとBSをつなぐ（☞29ページ）
❸ 電源コードをつなぐ
❹ テレビチャンネルを設定する（☞32ページ）
❺ BS受信の設定をする（☞35ページ）

*2　壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

マンションなどの共同受信システム*2＋ビデオ

*2 壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

❶ 分波器を使って、 VHF/UHFとBSを分ける（☞29ページ）
❷ テレビアンテナを、ビデオを経由してテレビにつなぐ（☞43～46ページ、およびビデオの取扱説明書）
❸ BSアンテナをつなぐ
  ❸-a　BSチューナーのないビデオのとき:
  BSアンテナをテレビにつなぐ
  （☞45ページ）
  ❸-b　BSチューナー内蔵ビデオのとき:
  BSアンテナをビデオを経由してテレビにつなぐ（☞46ページ、およびビデオの取扱説明書）
❹ ビデオをつなぐ（☞43～46ページ）
❺ 電源コードをつなぐ
❻ テレビチャンネルを設定する（☞32ページ）
❼ BS受信の設定をする（☞35ページ）

*1　ビデオ出力端子でもつなげます。

テレビ＋WOWOW＋ビデオ*3

❶ テレビアンテナをビデオを経由してからテレビにつなぐ（☞43～46ページ）
❷ BSアンテナをつなぐ（☞30ページ）
❸ ビデオをつなぐ（☞43～46ページ）
❹ BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ（☞51～53ページ）
❺ 電源コードをつなぐ
❻ テレビチャンネルを設定する（☞32ページ）
❼ BS受信の設定をする（☞35ページ）

*1　ビデオ出力端子でもつなげます。
*3　BSチューナー内蔵ビデオのときの接続は、左の図とは異なります。「BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ：BSチューナー内蔵ビデオのとき」（☞52ページ）の接続を行ってください。

ケーブルテレビ

ケーブルシステムによって接続や準備のしかたが異なります。ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

手順1: テレビアンテナをつなぐ

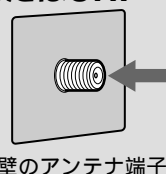
テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。
いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

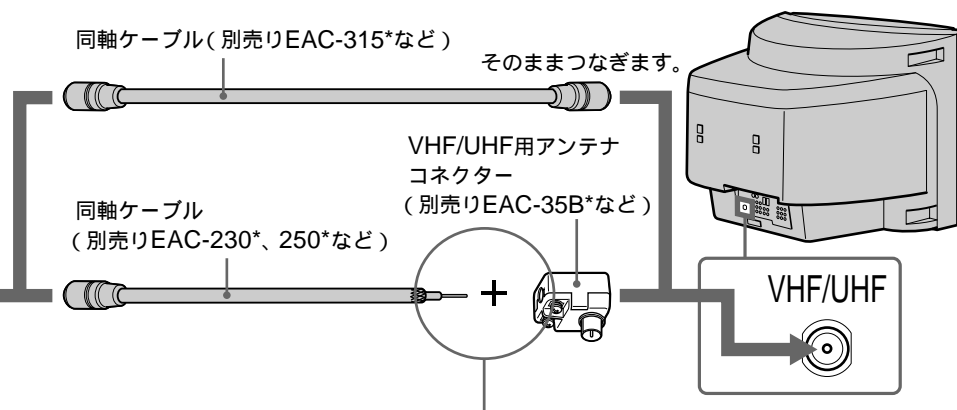
VHF/UHF混合、またはVHF、またはUHF

同軸ケーブル（別売りEAC-315*など）

そのままつなぎます。

VHF/UHF用アンテナコネクター（別売りEAC-35B*など）

同軸ケーブル（別売りEAC-230*、250*など）

VHF/UHF

壁のアンテナ端子

つなぎかた

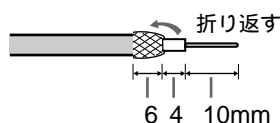
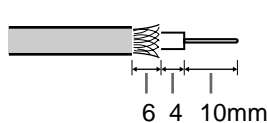
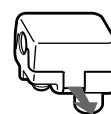
1 同軸ケーブルの芯線とアミ線を出す

EAC-230*など3C-2Vの場合

折り返す

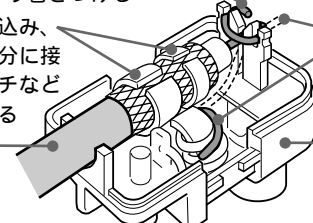
6 4 10mm

EAC-250*など5C-2Vの場合

6 4 10mm

2 VHF/UHF用アンテナコネクターの両側を広げてふたを開ける

3

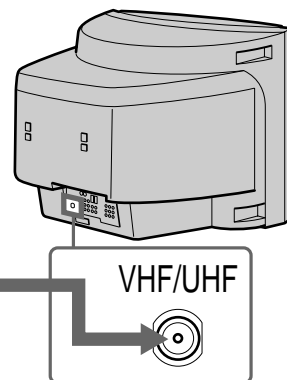
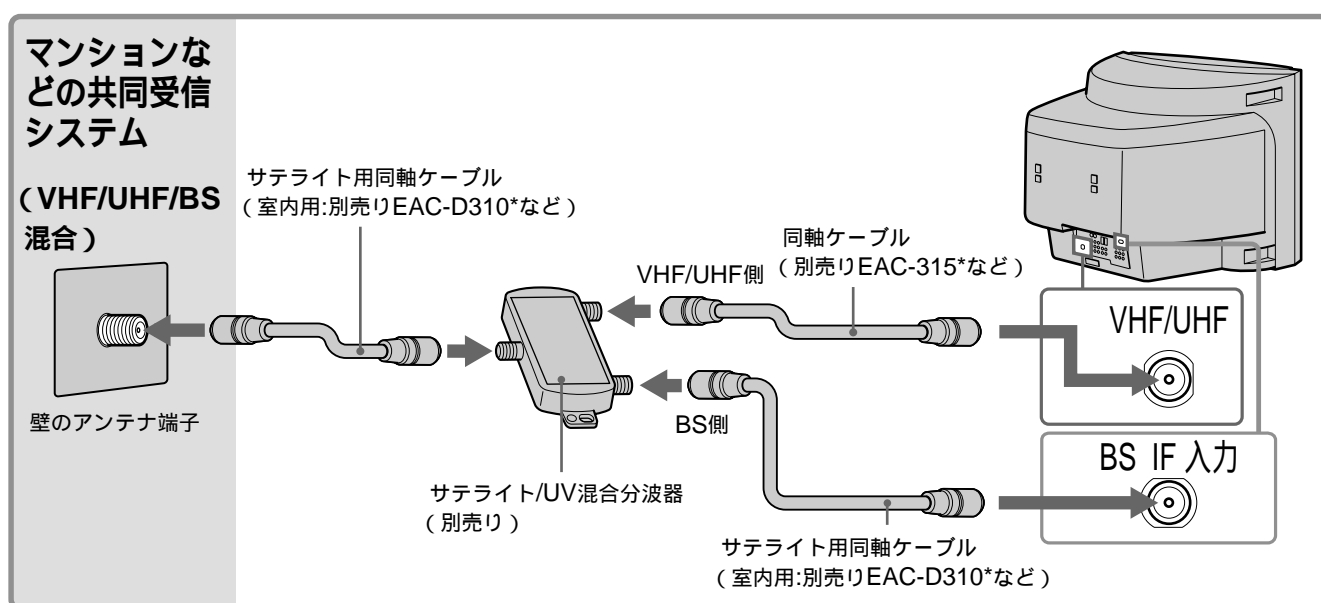
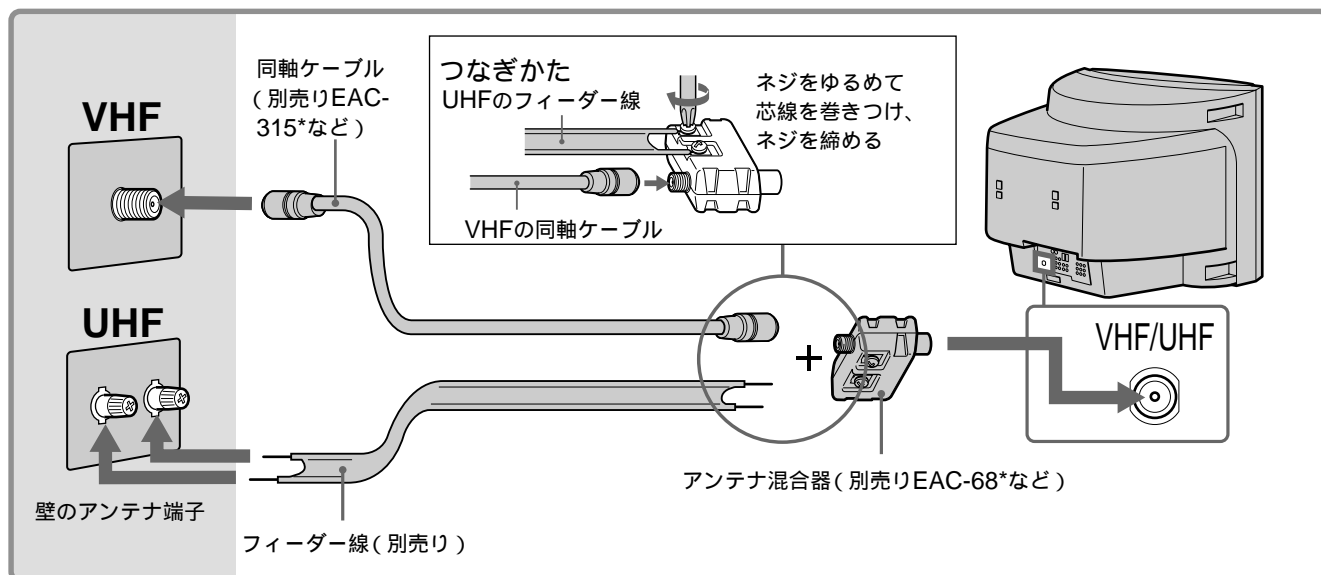
③芯線を他の金属部分に接触しないようにしっかり巻きつける

②同軸ケーブルを差し込み、アミ線が他の金属部分に接触しないようにペンチなどでしっかり締めつける

同軸ケーブル

①点線部分のリード線をはずし、金属部分に接触しないように折り返す

VHF/UHF用アンテナコネクター

4 ふたを閉める

VHF、またはUHF

ご注意

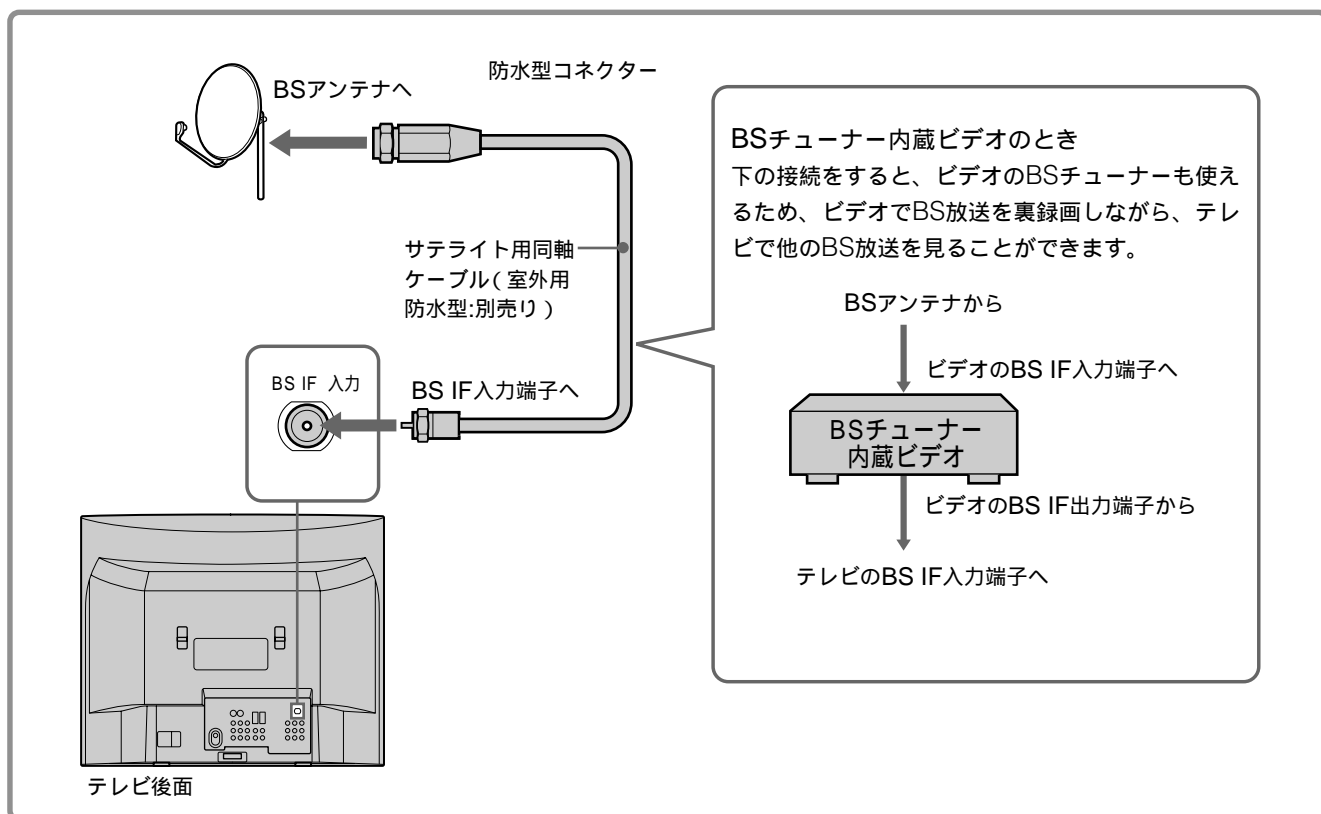
- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。万が一、フィーダー線でつなぐときは、テレビからできるだけ離してください。
- BS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブル（室内用:別売りEAC-D310*など）をつないでください。BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源（DC 15V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ（別売りEAC-BC2*またはEAC-BC4*など）を必ずお使いください。特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分配器を使うと、 BSチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

ちょっと一言

マンションなどの共同受信システムで、BS放送の受信電波が弱くノイズが出るときは、サテライトブースター（別売りBO-BC20*など）をつないでください。また、メニューの「設定」で「BS設定」を選び、「BSアンテナ電源」を「切」にしてください（☞35ページ）。

手順2:
BSアンテナを
つなぐ

BSアンテナをテレビに直接つなぎます。マンションなどの共同受信システムなどVHF/UHF/BS混合のときは、☞29ページをご覧ください。BSアンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。
WOWOWをご利用になるときは、「BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ」（☞51ページ）もあわせてご覧ください。

BS放送が正しく受信できないときや、「BSアンテナ電源を確認してください」という表示が出たら

「設定」メニューで「BS設定」を選び、「BSアンテナ電源」を「切」にします。

1 いったんテレビの電源を切る。

2 以下のことを確認する。

- サテライト用同軸ケーブルの芯線が、BS IF端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。

正しい

芯線がBS-IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れないように、気をつけてください。

- サテライト用同軸ケーブルをアンテナコネクターでつないでいるときは、アンテナコネクターの芯線が、BS IF端子やコネクターのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。
それでも表示が消えないときは、アンテナコネクターのふたを開けて、内部を確認してください。

3 テレビの電源を入れ直し、「設定」メニューで「BS設定」を選び、「BSアンテナ電源」を設定する（☞35ページ）。

- BSアンテナをテレビにつないでいるときは、「オート」または「連動」にする。
- マンションなどの共同受信システムのときは、「切」にする。

ご注意

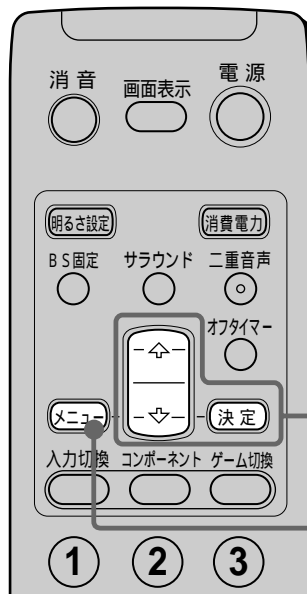
- BS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源（DC 15V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
  推奨ケーブル
  – 室外用防水型:SAK-C10*/C20*/C30*（別売り）など
- 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  – 雷、雨、強風などの悪天候のとき
  – BSアンテナに雪が付着しているとき
  – 強風などでアンテナの向きが変わったとき（BSアンテナの向きを調整してください。☞36ページ）
  – 春分や秋分、日食など、太陽と地球とBS衛星が並んだ（食）とき
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ（別売りEAC-BC2*またはEAC-BC4*など）を必ずお使いください。
  特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分配器を使うと、BSチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。
- BSアンテナをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。工具を使うと、端子を傷めることがあります。

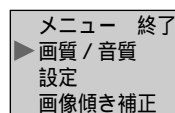
* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

手順3: 地磁気による画像の傾きなどを補正する

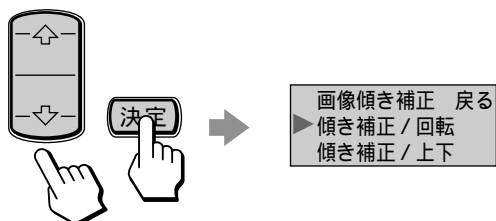
地磁気など磁界によって発生する画像の傾きを補正できます。これらの症状は、テレビの故障ではありません。
お買い上げ時は、テレビアンテナやBSアンテナをつないでから、必ず画像の傾きを補正してください。
お引っ越し後や、テレビの設置場所を変えたときも、必ずメニュー画面で補正し直してください。

補正される前に確認してください。

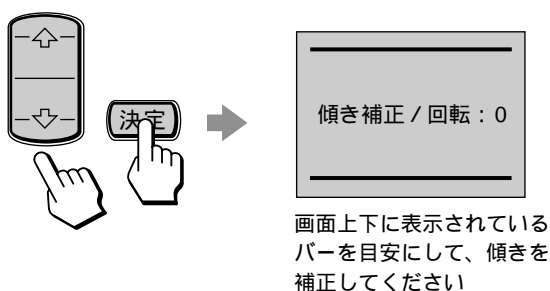
- 外部のスピーカー（防磁型も含む）は、テレビから30cm以上離して置いてください。スピーカーの磁気により、うまく補正されなかったり、スピーカーから雑音が出たりするためです。
- 強い磁界（高圧電線や電車、鉄筋コンクリート、鉄製機材の近辺など）では、うまく補正されないことがあります。このときは、磁界の影響を受けない場所に設置されるか、ソニーサービス窓口やお買い上げ店などにご相談ください。

1 電源を入れる。

2 メニューボタンを押す。

次のページにつづく

手順3:
地磁気による画像の傾きなどを補正する（つづき）

3 **↑/↓で「画像傾き補正」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「傾き補正／回転」または「傾き補正／上下」を選び、決定ボタンを押す。**

画像が傾いているときは「画像傾き/回転」を、画像の上下位置がずれているときは「傾き補正/上下」を選びます。

画面上下に表示されているバーを目安にして、傾きを補正してください

5 **↑/↓で調整する。**

手順4で「傾き補正/回転」を選んだとき
画面上下のバーができる限り水平になるようにします。数値は−3〜＋3の範囲で変わります。
手順4で「傾き補正/上下」を選んだとき
画面上下のバーが、画面の上下の端から、できるだけ均等になるように、位置を補正します。数値は−3〜＋3の範囲で変わります。

6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

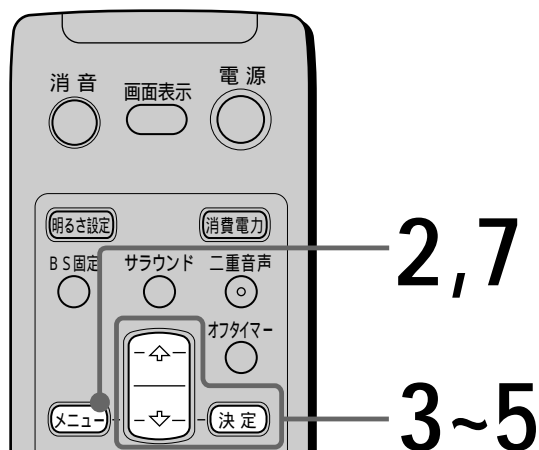
ご注意

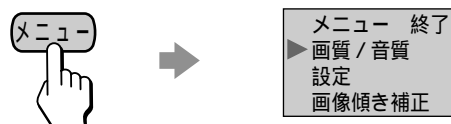
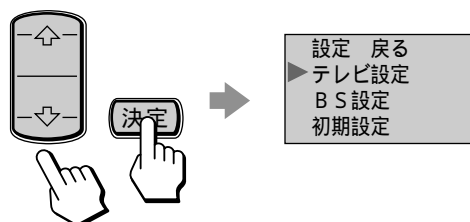
うまく補正しきれないときは、いったんテレビの電源を切り、設置の場所を変えるか、テレビの向きを変えてから、もう1度、傾き補正の手順を行ってください。
電源を切らずに移動したり、向きを変えたりすると、補正がうまくされなかったり、色むらを起こす原因になります。
色むらが出たときは、移動したり、向きを変えたあとに、いったん電源を切って30分以上待ってから電源を入れてください。または、電源を入れたままで30分以上待ってから、いったん電源を切って、もう1度、電源を入れ直してください。

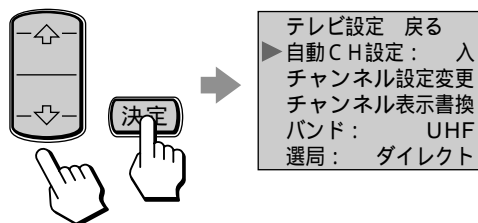
手順4:
チャンネルを設定する

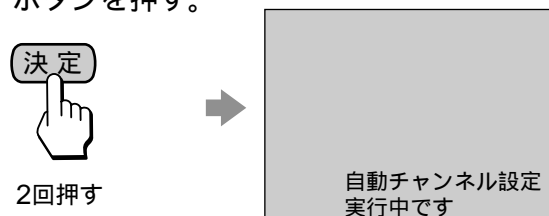
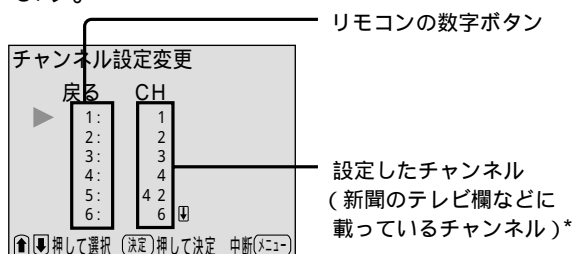
VHF/UHF放送は、自動でも手動でも受信設定できます。はじめに自動設定することをおすすめします。

自動設定する

受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字ボタンに自動的に設定します。
放送のある時間帯に行ってください。BS放送はお買い上げ時に設定されています。
自動設定したチャンネルを変更したり、放送のないチャンネルをとばすときは、☞34、35ページをご覧ください。

1 **電源を入れて、VHF/UHF放送を映す。**

2 **メニューボタンを押す。**

3 **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

5 ▶が「自動CH設定」の左側に表示されていて、「入」になっていることを確認した後、決定ボタンを2回押す。

「切」になっているときは、決定ボタンを1回押した後、↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。

「自動チャンネル設定実行中です」と表示され、自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下のメニューに変わります。

* 地域によっては、これまでご覧になっていたチャンネル番号と異なる場合があります。

6 設定されたチャンネルを確認する。

手動で設定し直したいときは

☞34ページをご覧ください。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

チャンネル設定を途中でやめるには

手順5で「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間に、メニューボタンを押す。

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。このテレビでは、C13〜C35までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1. **ダイレクト選局になっていることを確認する（☞38ページ）。**
2. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
3. **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。**
6. **↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。**
7. **↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**
8. **↑/↓でケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。**
9. **↑/↓で「CH」の数字をケーブルテレビのチャンネルにし、決定ボタンを押す。**
   ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
   例：C24
10. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。
- ケーブルテレビで「10キー選局」（☞38ページ）をするときは、上記で受信設定をした後、「10キー選局」に切り換えてください。

次のページにつづく

手動設定する

自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。
1〜12のチャンネル数字ボタンと、BS5、7、9、11のBSチャンネルボタンの合計16チャンネルのすべてを、手動で設定できます。

ご注意

BS5、7、9、11ボタンは、ボタン名と同じBSチャンネル用としてだけでなく、13、14、15、16チャンネルボタンとしても使えます。ただし、ボタン名と異なる他のチャンネルに設定し直すと、各ボタンを押しても、BS5、7、9、11チャンネルを直接選局できなくなります。

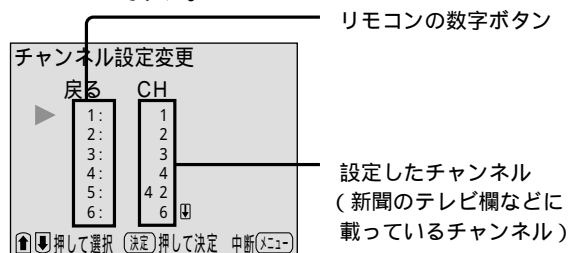
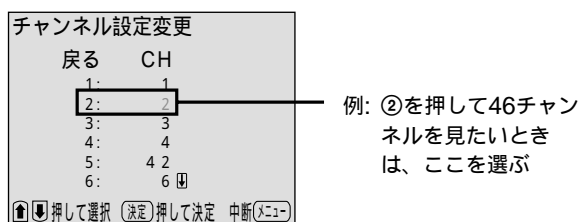
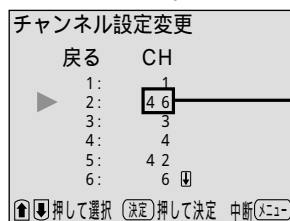
リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

リモコンの数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で変更したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で設定したチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

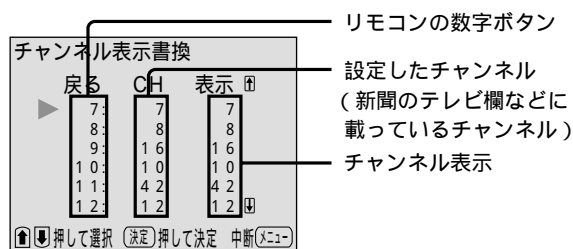
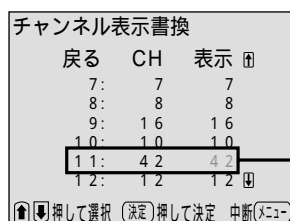
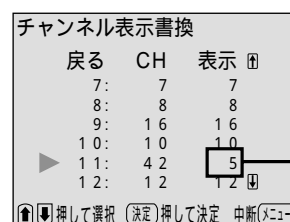
チャンネル表示を書き換えるには

画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓でチャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。

7　メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言
- チャンネルと表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。
- BS放送のチャンネル表示は書き換えられません。

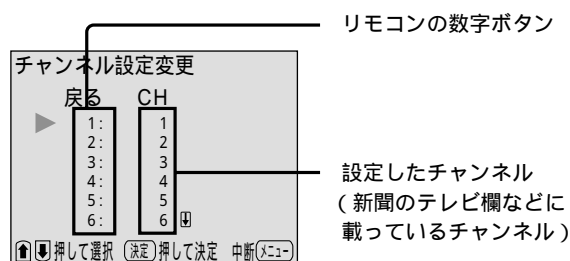
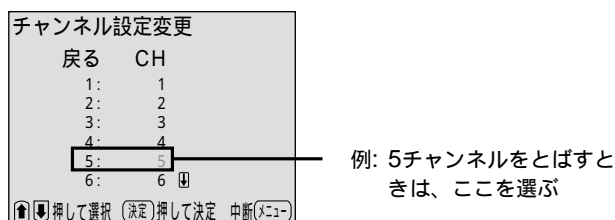
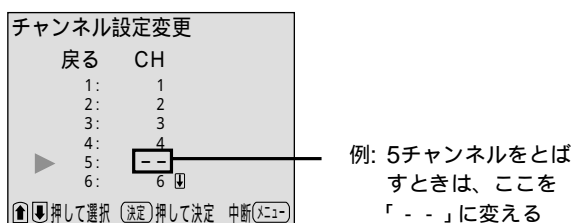
放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル+/−ボタンでチャンネルを選ぶときに、放送のないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定できます。

1　メニューボタンを押して、メニューを出す。

2　↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

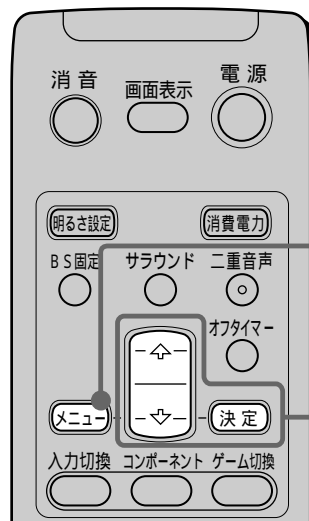
3　↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

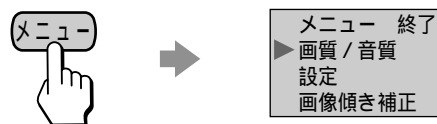
4　↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

5　↑/↓でとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

6　↑/↓で「CH」を「−−」に変えて、決定ボタンを押す。

7　メニューボタンを押して、メニューを消す。

手順5: BS受信の設定をする

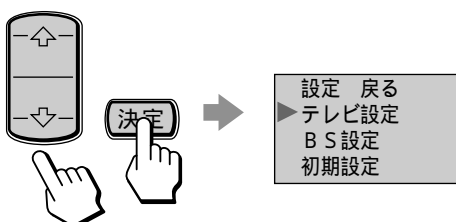
BS放送を見るときは、BSアンテナ電源の設定と、BSアンテナの向きを調整してください。

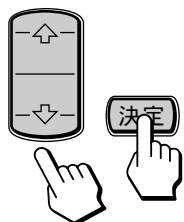
BSアンテナ電源を設定する

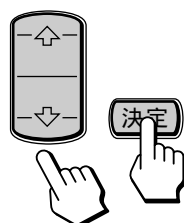
BSアンテナのつなぎかた（マンションなどの共同受信システムか、テレビなどに直接つないでいるかなど）に合わせて、BSアンテナへの電源供給を設定します。

1　電源を入れ、BS放送を映す。

2　メニューボタンを押す。

3　↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

テレビの接続と準備

手順5:
BS受信の設定をする（つづき）

4 ↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

```
 ＢＳ設定　　戻る
▶TV/独立音声：
 アンテナレベル
 デコーダー/ビデオ：
          デコーダー
 デコーダー入力切換
 ＢＳアンテナ電源：
             オート
```

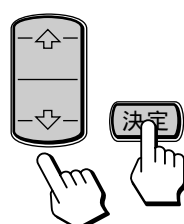
5 ↑/↓で「BSアンテナ電源」を選び、決定ボタンを押す。

```
 ＢＳ設定　　戻る
 TV/独立音声：
 アンテナレベル
 デコーダー/ビデオ：
          デコーダー
 デコーダー入力切換
 ＢＳアンテナ電源：
             オート
```

6 マンションなどの共同受信システムのときは

↑/↓で「切」を選び、決定ボタンを押す。

BSアンテナをつないでいるときは

↑/↓で「オート」または「連動」を選び、決定ボタンを押す。

設定	BSアンテナへの電源供給のしかた
オート（お買い上げ時の設定）	テレビの電源が入っているときに、テレビがBSアンテナ電源を供給するかどうかを自動的に判断する。テレビの電源が切れているときは供給しない。
連動	テレビの電源が入っているときはつねに電源を供給する。テレビの電源が切れているときは供給しない。BSが映ったり消えたりするときに選んでください。
切	電源を供給しない。

```
 ＢＳ設定　　戻る
 TV/独立音声：
 アンテナレベル
 デコーダー/ビデオ：
          デコーダー
 デコーダー入力切換
▶ＢＳアンテナ電源：
               連動
```

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

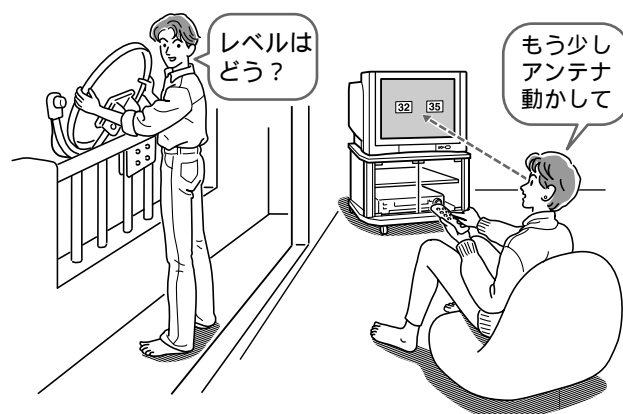
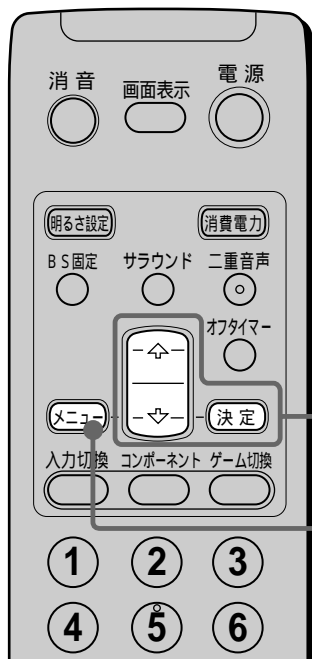
ご注意

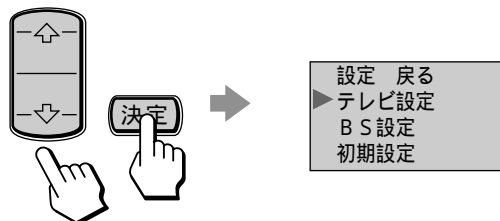
- 「オート」にしていても、BSアンテナの電源供給システムによっては、うまく働かないことがあります。このときは「連動」にしてください。
- 1本のBSアンテナに分配器などをつないでBS電波を分け、このテレビと他のテレビやビデオ機器の両方でBSを受信できるようにしているときは、このテレビを「オート」に、他の機器を「連動」にしてください。このようにしないと、テレビの電源を切ると他のテレビやビデオ機器からBSアンテナに電源が供給されないことがあります。他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

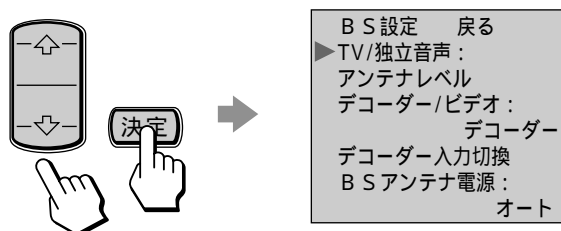
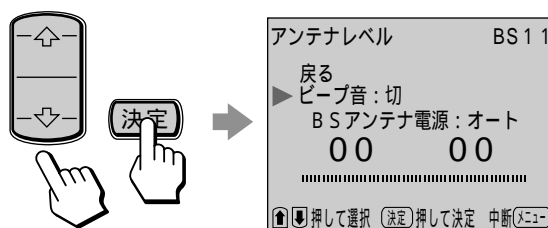
BSアンテナの向きを調整する

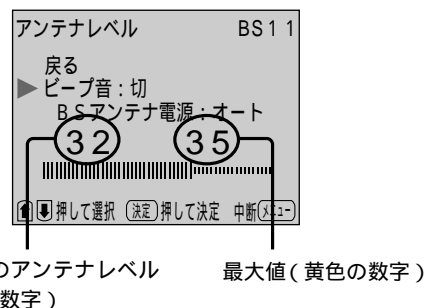
BSアンテナをテレビに直接つないだときは、アンテナの向きを2人で調整します。1人がテレビ画面の画像とレベル表示を見て、もう1人がレベル表示が最大になるように、BSアンテナを動かしながら調整します。
向きや角度についてはBSアンテナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

「BSアンテナ電源」が「切」になっているときは、「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてください。

1 電源を入れ、BS放送を映す。

2 メニューボタンを押す。

3 ♠/♣で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ♠/♣で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

5 ♠/♣で「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。

6 BSアンテナを動かして調整する。

受信中のアンテナレベルが最大値と一致、または一番近づいたところでBSアンテナを固定します。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

音を聞いて調整するには

画面で確認できないときに便利です。

1. **手順5のあと、♠/♣で「ビープ音」を選び、決定ボタンを押す。**
2. **♠/♣で「入」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **手順6で連続した最も高い音階の音になるよう、BSアンテナを調整する。**

ちょっと一言

1つのBSチャンネルで調整すれば、他のBSチャンネルの調整は不要です。

テレビの接続と準備

次のページにつづく

デコーダー入力を設定する

お買い上げ時は、すべてのBSチャンネルが「オート」に設定されているため、**設定しなおす必要はありません。**「オート」になっていると、BSデコーダー/ビデオ4入力端子につないだBSデコーダー（WOWOW）などのスクランブルを自動的に判別するからです。あえて設定を変更する場合は下記の手順で操作してください。

ちょっと一言

MUSE-NTSCコンバーターをBSデコーダー/ビデオ4入力端子につなぐときは、☞54ページの設定をしてください。

1 テレビでBS放送を映す。

2 メニューボタンを押す。

3 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓でチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
BS9〜15を設定するときは、↓を押し続けると出てくる画面にあります。

7 ↑/↓で「テレビ」、「デコーダー」、「オート」の設定の中から選び、決定ボタンを押す。

デコーダー入力切換
戻る
▶ BS 9: オート
BS11: オート
BS13: オート
BS15: オート
⇧⇩押して選択 (決定)押して決定 中断(メニュー)

設定	内容
オート	BSデコーダー（WOWOW）などのスクランブルを自動判別
テレビ	受信した映像・音声をそのまま映す
デコーダー	デコーダー入力端子からの映像・音声を映す

8 他のBSチャンネルを設定するときは、手順6と7をくり返す。

9 メニューボタンを押してメニューを消す。

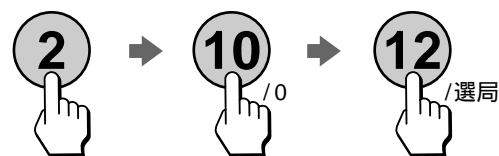
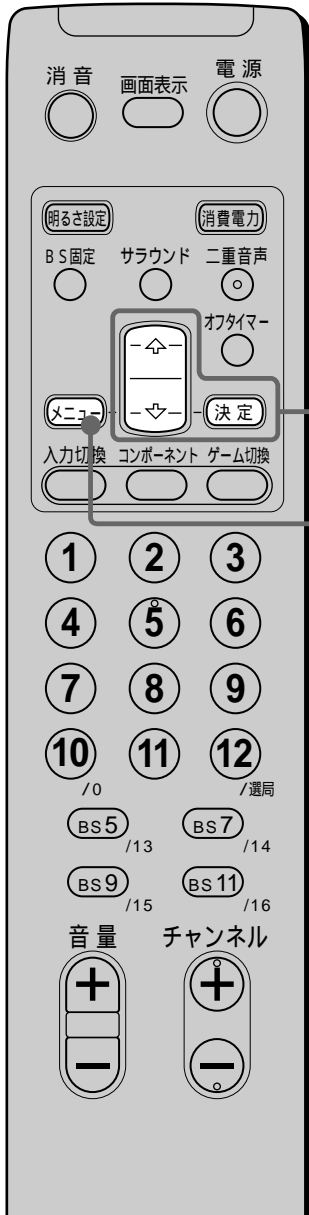
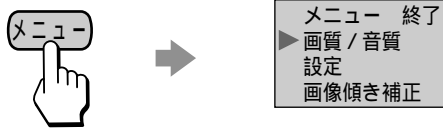
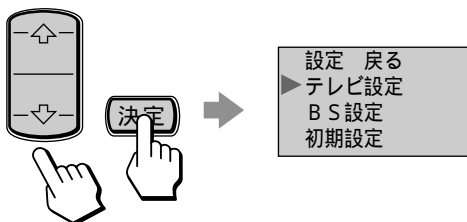
数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ［10キー選局］

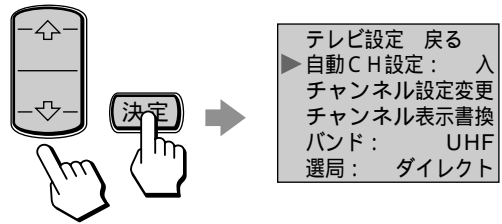
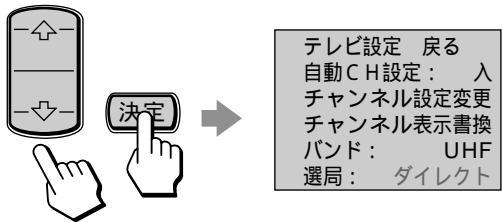
お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。「ダイレクト選局」は、リモコンの数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大16局です。
そのため、ケーブルテレビなど見たいチャンネルの数が16局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。
「10キー選局」では、数字ボタンを十の位・一の位の順に押した後、⑫（=選局）ボタンを押して、チャンネルを選びます。0は⑩ボタンを使います。

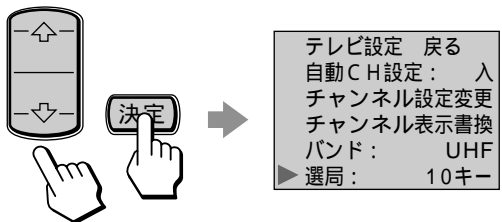
ちょっと一言

BS放送は、「10キー選局」に変えても、リモコンのBS5〜11ボタンを押して、直接選べます。

例） 14**チャンネル**

20**チャンネル**

1 メニューボタンを押す。

2 ⬆/⬇で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ⬆/⬇で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ⬆/⬇で「選局」を選び、決定ボタンを押す。

5 ⬆/⬇で「10キー」を選び、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ダイレクト選局に戻すには

手順5で「ダイレクト」を選ぶ。

ご注意

- チャンネルを自動設定する（☞32ページ）ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順3の後に下記の操作をした後、手順4以降を行ってください。
  1 ⬆/⬇で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
  2 ⬆/⬇で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
  3 手順4以降を行う。

テレビの接続と準備

次のページにつづく

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ［10キー選局］（つづき）

チャンネル＋/－ボタンで選ぶ放送を設定するには

お買い上げ時は1〜12チャンネルとBS5、BS7、BS9、BS11が順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどでこれ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。

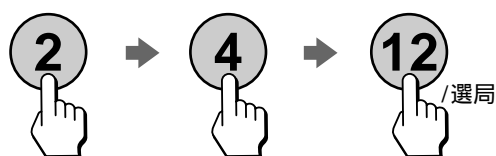
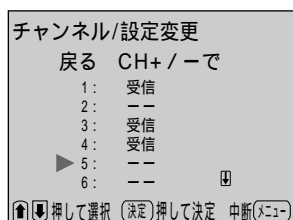
1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**

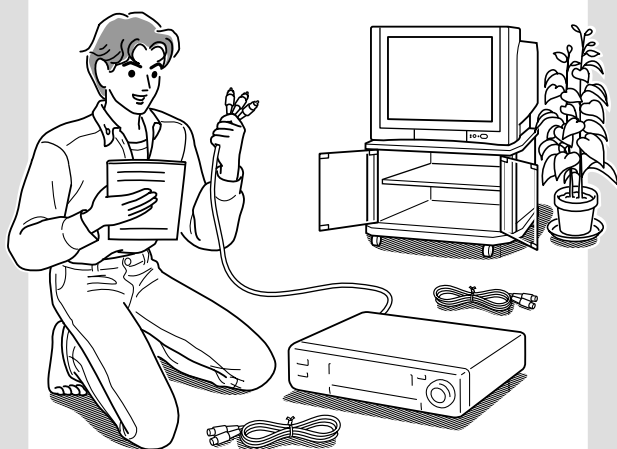
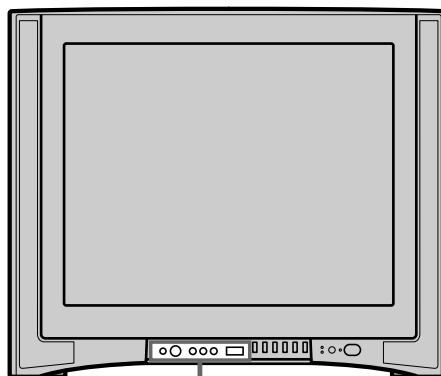
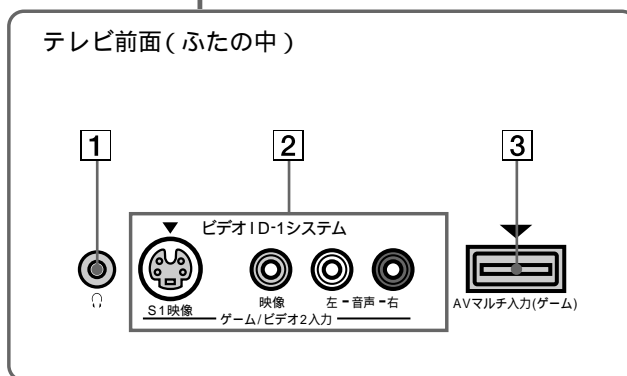
5 **見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。**

例：24チャンネルのとき

6 **↑/↓で見たいチャンネルのときは「受信」を、とばしたいチャンネルのときは「ーー」を選び、決定ボタンを押す。**

7 **複数のチャンネルを設定するときは、手順5と6をくり返す。**

8 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

他機との接続

接続端子の名前とはたらき

ここでは、接続端子の名前とはたらき、およびビデオデッキなど他の機器のつなぎかたについて説明しています。
テレビを見るための接続と準備については、「テレビの接続と準備」（☞25ページ）をご覧ください。

☞のページに詳しい説明があります。

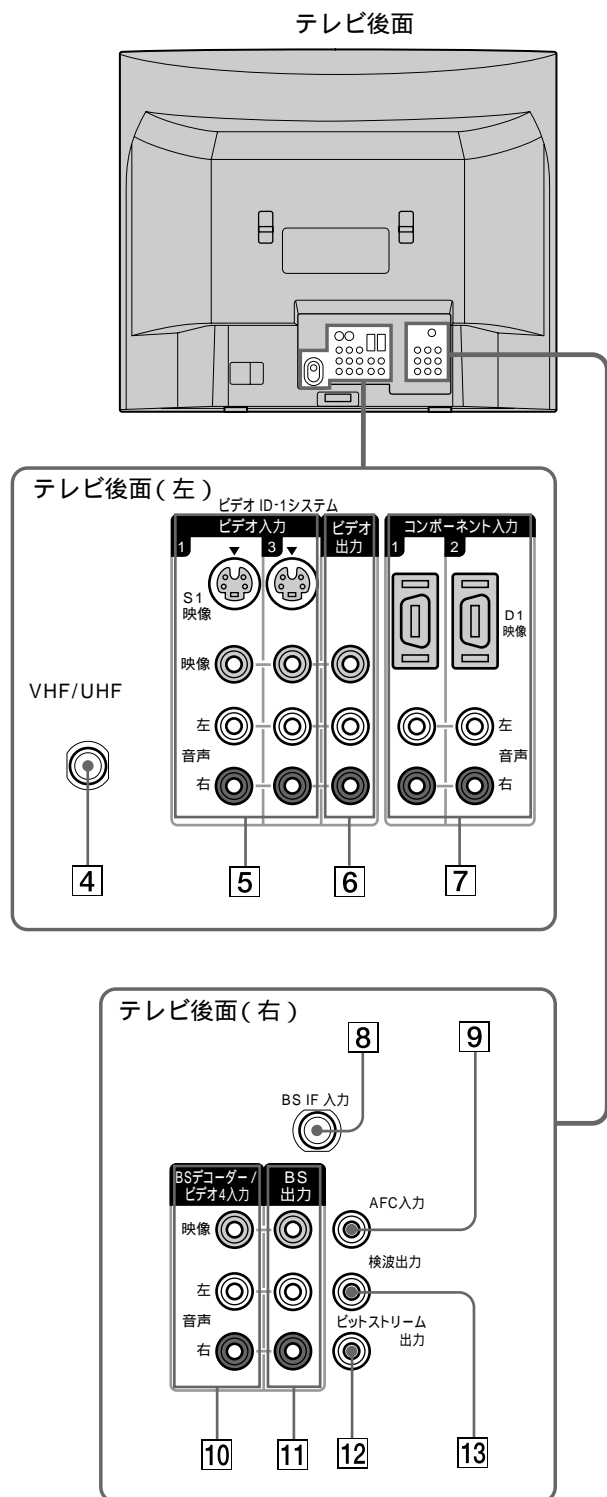
1 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。

2 **ゲーム/ビデオ**2**入力端子（**S1**映像/映像/音声）（**ID-1**システム）（**☞57**ページ）**
テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

3 AV**マルチ入力（ゲーム）端子（**☞56**ページ）**
別売りのAVマルチケーブル（VMC-AVM250*）を使って、“ プレイステーション 2 ”、“ プレイステーション ”（PS one）および“ プレイステーション ”のAVマルチ出力端子につなぎます。RGB接続、またはY/CB/CR接続になり、高画質な画像でゲームを楽しめます。

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

次のページにつづく

接続端子の名前とはたらき（つづき）

☞のページに詳しい説明があります。

4 VHF/UHF**アンテナ端子（**☞28、29**ページ）**
VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

5 **ビデオ**1、3**入力端子（**S1**映像/映像/音声）（**ID-1**システム）（**☞45〜52**ページ）**
ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤーなど、ビデオ機器のビデオ出力端子につなぎます。

6 **ビデオ出力端子（映像/音声）**
ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。VHF/UHF、BS、ビデオ1〜4入力*、AVマルチの信号（AVマルチY/CB/CRとAVマルチ（ゲーム）Y/CB/CRを除く）を出力します。

* ただし、ビデオ1入力の信号については、メニューの「初期設定」の「ビデオ出力設定」で出力されるように設定する必要があります（☞44ページ）。
また、ビデオ4入力の信号のときは、BSデコーダー/ビデオ4入力端子をビデオ入力端子として働くように設定する必要があります（☞44ページ）。

ご注意
- BSデコーダー（WOWOW）をつないでいるときは、スクランブルを解除した信号を出力します。
- コンポーネント入力端子につないだ機器の映像信号は出力しません。

7 **コンポーネント**1、2**入力端子（**D1**映像/音声）（**☞47〜49、57**ページ）**
D1映像入力端子
BSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器などのD映像出力端子につなぎます。
音声入力端子
BSデジタル放送用の受信アダプターやビデオ機器の音声出力端子につなぎます。

8 BS IF**入力端子（**☞30**ページ）**
BSアンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。BSアンテナ用の電源を供給するため、DC15Vの直流電圧が出ています。VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

9 AFC**入力端子（**☞54、55**ページ）**
MUSE-NTSCコンバーターなどハイビジョン機器のAFC出力端子につなぎます。

⑩ **BSデコーダー/ビデオ4入力端子（映像/音声）（ID-1システム）（☞51〜55ページ）**
メニューの「BS設定」の「デコーダー/ビデオ」の設定によって、働きかたが異なります。

「デコーダー」に設定したとき（☞51ページ）
BSデコーダー入力端子として働きます。
BSデコーダー（WOWOW）やMUSE-NTSCコンバーターの映像/音声出力端子につなぎます。

「ビデオ4」に設定したとき（☞44ページ）
ビデオ4入力端子として働きます。
ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

⑪ **BS出力端子（映像/音声）（☞45、51ページ）**
ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。
受信しているBS放送の信号を出力します。また、BSデコーダー（WOWOW）をつないでいるときは、スクランブルを解除した信号を出力します。

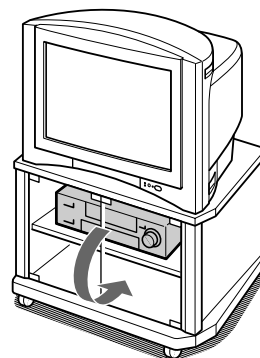
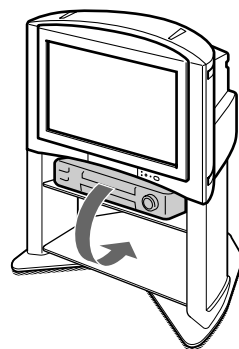
ご注意
BS固定（☞22ページ）のときのご注意
以下の信号を出力します。
- **BS固定が「切」のとき**:
テレビに映っている映像と音声に関係なく、最後に選んだBSチャンネルの映像と音声を出力します。
- **BS固定が「入」のとき**:
テレビに映っている映像と音声に関係なく、BS固定したBSチャンネルの映像と音声を出力します。

⑫ **ビットストリーム出力端子（☞51、52ページ）**
BSデコーダー（WOWOW）のビットストリーム入力端子につなぎます。また、将来的に考えられている新放送システムにも対応します。

⑬ **検波出力端子（☞51〜55ページ）**
BSデコーダー（WOWOW）やMUSE-NTSCコンバーターのFM検波入力端子につなぎます。

ビデオをつなぐ

ビデオデッキ、ビデオカメラ、またはレーザーディスクプレーヤーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意
ビデオデッキなど一部の機器をテレビスタンドの上段などテレビに近い場所に設置すると、テレビがビデオデッキなどから干渉を受けやすくなるため、画像の乱れや画面上のノイズの原因になることがあります。
このときは、ビデオデッキなどをスタンドの下段に設置してください。

画像の乱れやノイズが気になるときは、ビデオデッキなどの機器をスタンドの下段に設置してください。

他機との接続

次のページにつづく

Ｓ1映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

よりよい画質でご覧いただくために、つなぐ機器にS映像端子がある場合はS1映像端子につないでください。
Ｓ映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

ご注意
テレビのビデオ1、3入力またはゲーム/ビデオ2入力のS1映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは、S1映像入力端子から入力された画像が映ります。

テレビのBSデコーダー/ビデオ4入力端子にビデオ機器をつなぐときは

ビデオ4入力端子として働くように、以下の設定をしてください。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「デコーダー/ビデオ」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「ビデオ4」を選び、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ビデオ1入力の信号をビデオ出力端子から出力するときは

お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号は、ビデオ出力端子から出力されないようになっています。
そのため、ビデオ出力端子につないだオーディオ機器などで、ビデオ1入力の音声を楽しむときなど（☞58ページ）は、以下の設定をしてください。ビデオ1入力端子につないだ機器の映像および音声がビデオ出力端子から出力されます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「ビデオ出力設定」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「ビデオ1あり」を選び、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

BSチューナーのないビデオのとき

BS放送を録画したり（必ずBS固定にしてください☞22ページ）、ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビ後面

ビデオ入力
1
3
S1
映像
映像
左
音声
右

BS IF 入力

BSアンテナより
（☞30ページ）

BS
出力

VHF/UHF

映像・音声コード
（別売り:YC-810S*など）

①

②

アンテナコード
（別売り:
EAC-315*など）

映像・音声コード
（別売り:VMC-810S*など）

映像・音声出力端子へ
映像・音声入力端子へ

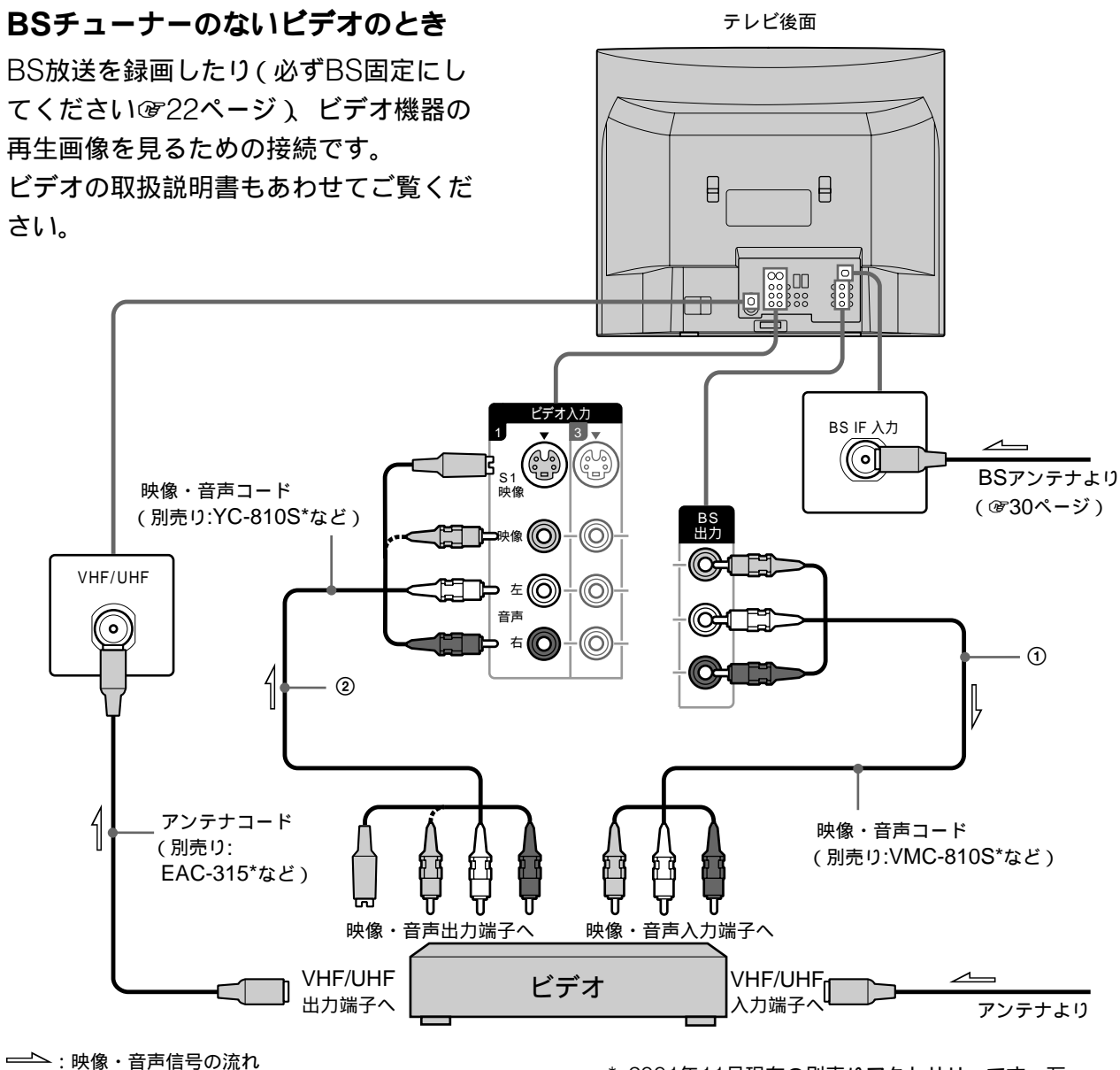
VHF/UHF
出力端子へ

ビデオ

VHF/UHF
入力端子へ

アンテナより

⟹：映像・音声信号の流れ

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

①BS放送をビデオに録画するための 接続です（☞22ページ）。

②ビデオの再生画像を見るための接続です（☞15ページ）。ビデオにS映像出力端子がないときはS映像コードの代わりに映像コードでつないでください。

ビデオを見るには

入力切換ボタンをくり返し押して、ビデオをつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。
詳しくは、☞15ページをご覧ください。

ご注意

- BS放送を録画するときは、BS固定をしてください(☞22ページ)。BS固定をすると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、テレビで受信しているBS放送がビデオに正しく録画されているかをチェックできます。
BS固定をしないと、チャンネルを選んだときなどに、画像が乱れることがあります。
- テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたゲーム/ビデオ2入力端子またはビデオ3入力端子、BSデコーダー/ビデオ4入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです（☞44ページ）。

ビデオをつなぐ（つづき）

BSチューナー内蔵ビデオのとき

ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

＊ 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

①テレビとビデオの両方のBSチューナーを使うときの接続です。ビデオ内蔵のBSチューナーでBS放送を裏録画しながら、テレビ内蔵のBSチューナーで他のBS放送を見ることができます。

②ビデオの再生画像を見るための接続です（☞15ページ）。ビデオにS映像出力端子がないときはS映像コードの代わりに映像コードでつないでください。

ビデオを見るには

入力切換ボタンをくり返し押して、ビデオをつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。
詳しくは、☞15ページをご覧ください。

ご注意

テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたゲーム/ビデオ2入力端子またはビデオ3入力端子、BSデコーダー/ビデオ4入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです（☞44ページ）。

BSデジタルチューナーをつなぐ

BSデジタル放送を見るには、BSデジタルチューナーが必要です。BSデジタルチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

BSチューナーのないビデオのとき

BSアンテナより

サテライト分配器
（別売り:EAC-BC2*など）

テレビ後面

BS IF 入力

VHF/UHF

コンポーネント入力
1
2
D1
映像
左
音声
右

ビデオ入力
1
3
S1
映像
映像
左
音声
右

S映像・音声コード
（別売り:YC-810S*など）
ビデオにＳ映像出力端子がないときは、Ｓ映像コードの代わりに映像コードでつないでください。

サテライト用同軸ケーブル
（室内用:別売り）

音声コード
（別売：RK-C310*など）

D映像コード
（別売り:VMC-DD20*など）

VHF/UHF
出力端子へ

S映像・音声出力端子へ

D映像出力端子へ

音声出力端子へ

ビデオデッキ

BSデジタルチューナー

VHF/UHF
入力端子へ

S映像・音声入力端子へ

S映像・音声出力端子へ

BS IF入力
端子へ

アンテナより

S映像・音声コード
（別売り:YC-810S*など）
ビデオにＳ映像入力端子がないときは、Ｓ映像コードの代わりに映像コードでつないでください。

:映像・音声信号の流れ

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

他機との接続

BSデジタルチューナーをつなぐ（つづき）

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

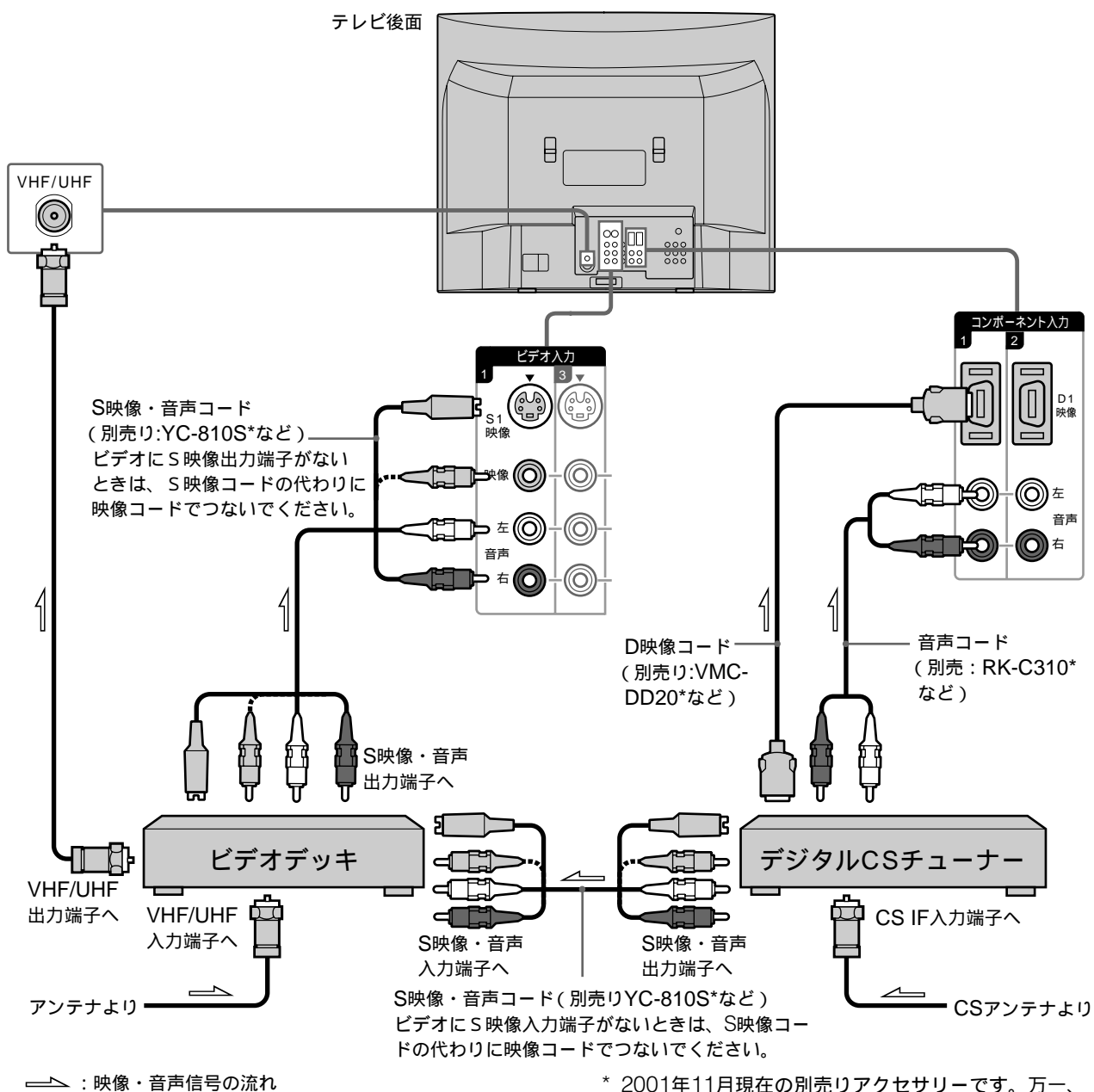
BSデジタル放送を見るには

コンポーネントボタンをくり返し押して、BSデジタルチューナーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント1（D端子）」、「コンポーネント2（D端子）」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞15ページをご覧ください。

ご注意

- このテレビにはD1映像入力端子がついています。BSデジタルチューナー側でD1端子に合った設定にしてください。
- BSデジタルチューナー側のテレビ選択の設定を「4:3ワイドモード」や「16:9」など、このテレビに合わせた設定にし、テレビのメニューの高密ワイドは「オート」（お買いあげ時の設定）でお使いください。
  詳しくは、BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

デジタルCSチューナーをつなぐ

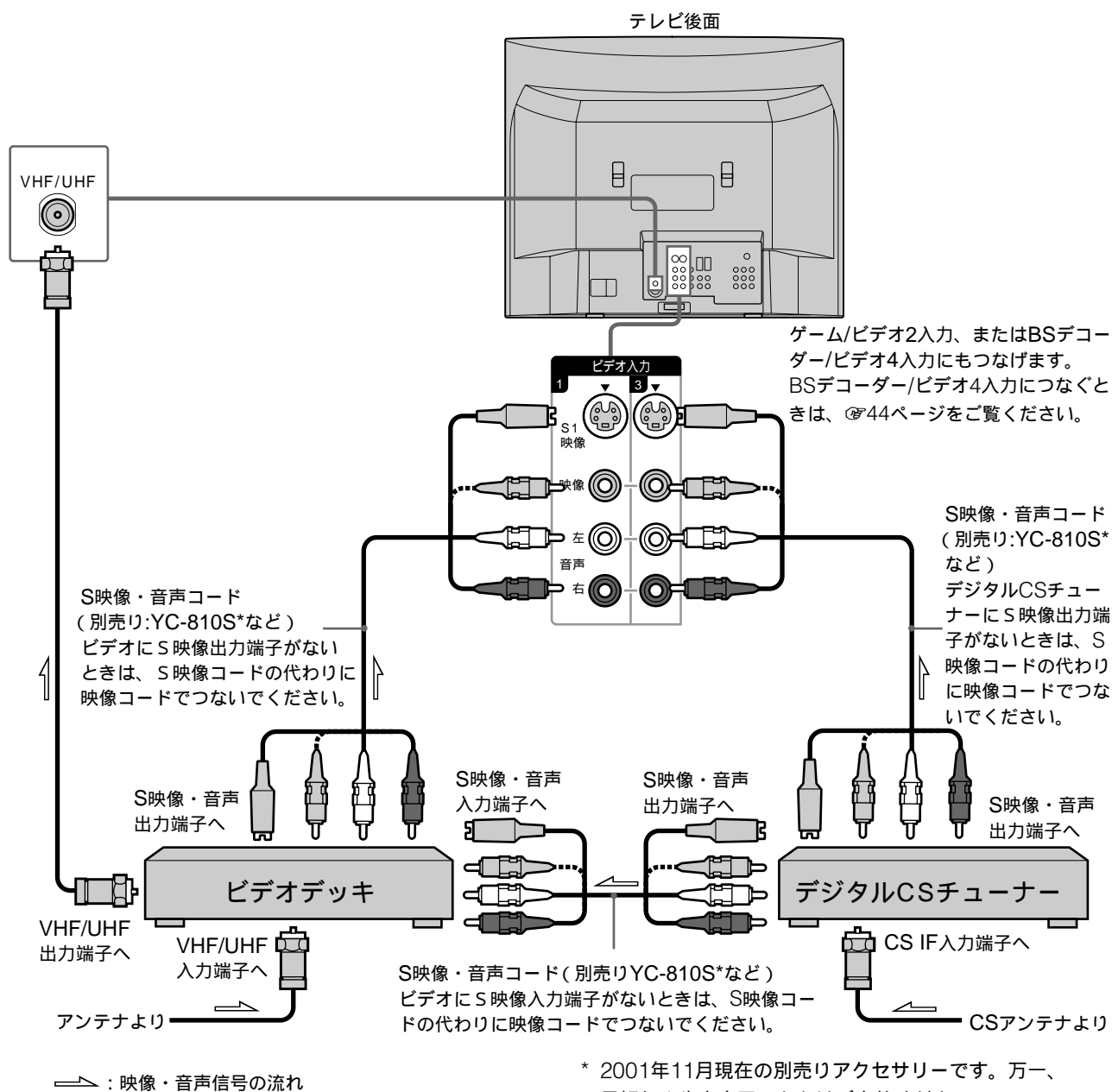
デジタルCS放送を見るには、デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくはデジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

デジタルCS放送を見るには

コンポーネントボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント1（D端子）」、「コンポーネント2（D端子）」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞15ページをご覧ください。

他機との接続

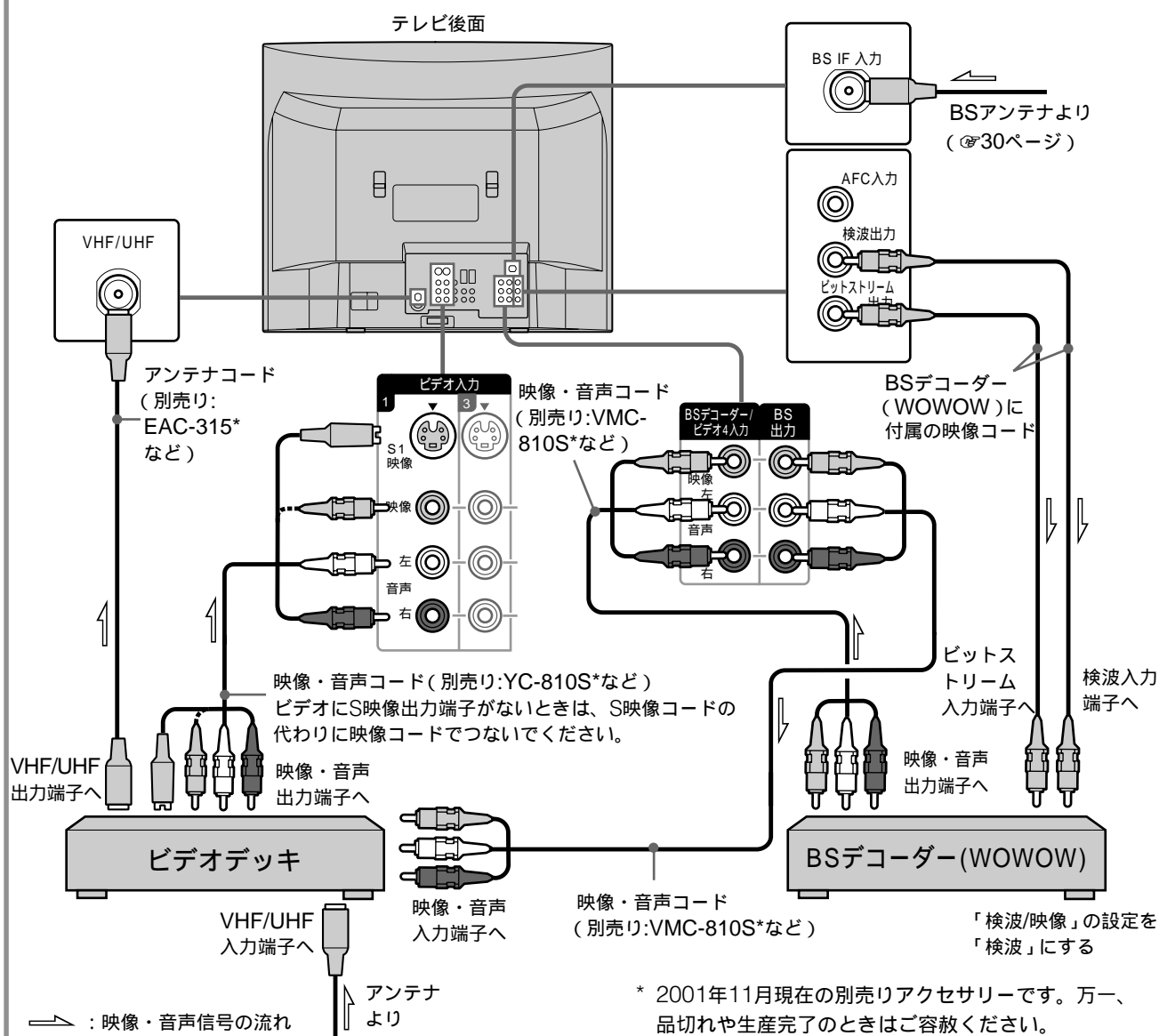
次のページにつづく

デジタルCSチューナーをつなぐ（つづき）

デジタルCS放送を見るには

入力切換ボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだビデオ入力（「ビデオ2」～「ビデオ4」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞15ページをご覧ください。

BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ

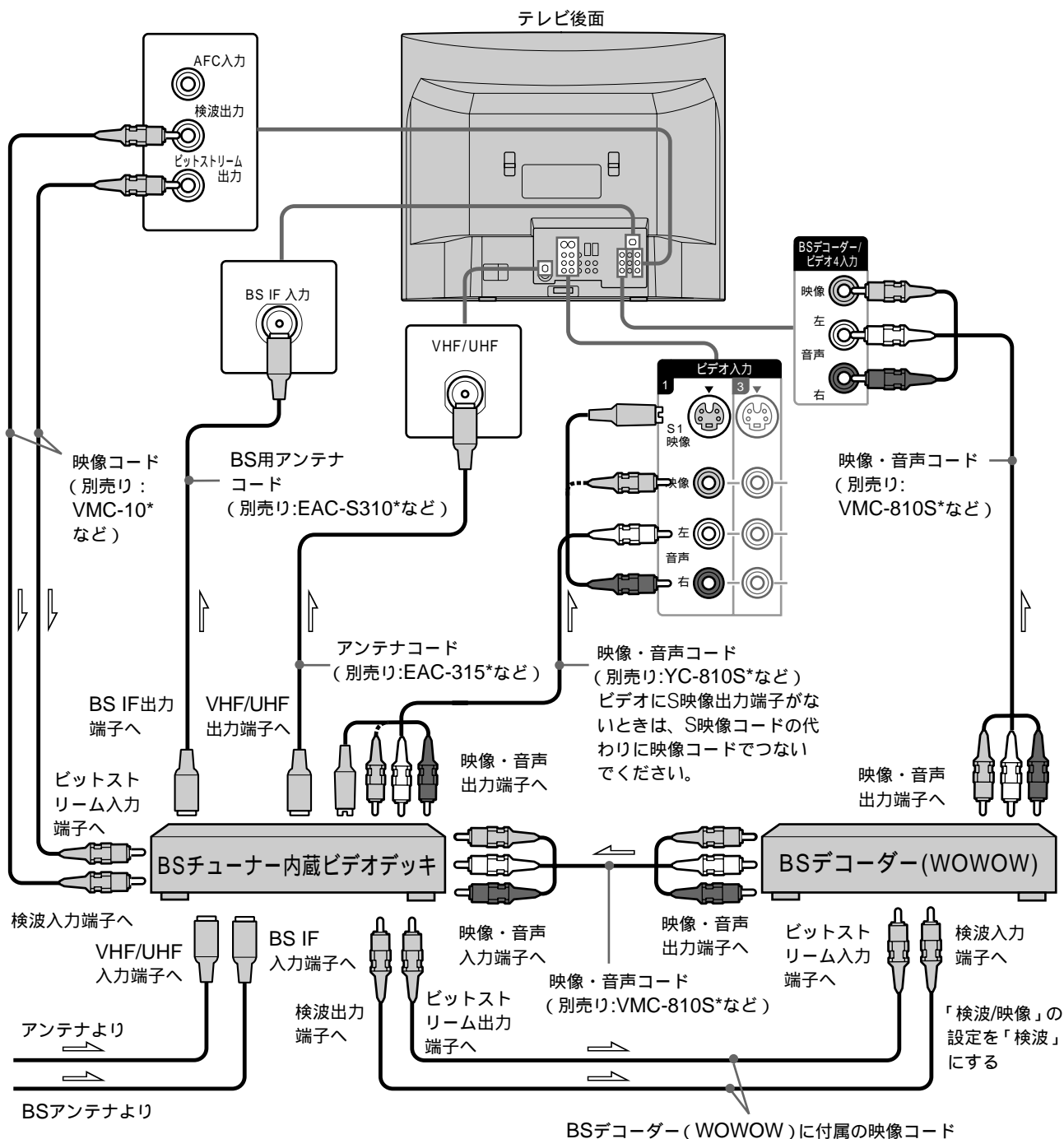
WOWOWを見るには、WOWOWと受信契約が必要です。詳しくはWOWOWへお問い合わせください。WOWOWを見るには、☞53ページをご覧ください。
WOWOWと受信契約をすると送られてくるBSデコーダー（WOWOW）の取扱説明書もあわせてご覧ください。また、BSデコーダー（WOWOW）とMUSE-NTSCコンバーターの両方をつなぐときは、☞55ページもあわせてご覧ください。

BSチューナーのないビデオのとき

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

ご注意

- WOWOWを録画するときは、テレビ側でWOWOWを受信し、録画してください。
- WOWOWも含めたBS放送を録画するときは、BS固定をしてください（☞22ページ）。BS固定をすると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、テレビで受信しているBS放送がビデオに正しく録画されているかをチェックできます。BS固定をしないと、チャンネルを選んだときなどに、画像が乱れることがあります。
- BSデコーダー（WOWOW）は、必ずテレビのBSデコーダー/ビデオ4入力端子につないでください。BSデコーダー/ビデオ4入力端子以外につなぐと、チャンネルボタン（例:BS5）を押しても選局できません。

次のページにつづく

BSチューナー内蔵ビデオのとき

＊ 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

ご注意

- WOWOWを録画するときは、ビデオ側でWOWOWを受信し、録画してください。
- ソニー以外のBSチューナー内蔵ビデオデッキの中には、上記の接続でWOWOWを録画できないビデオがあります。そのときは、ビデオデッキのメーカーのお客様窓口へご相談ください。
- BSデコーダー（WOWOW）は、必ずテレビのBSデコーダー/ビデオ4入力端子につないでください。BSデコーダー/ビデオ4入力端子以外につなぐと、チャンネルボタン（例:BS5）を押しても選局できません。

テレビのBSデコーダー/ビデオ4入力端子にBSデコーダー（WOWOW）をつなぐときは

お買い上げ時は、デコーダー入力端子として働くように設定されているため、**設定し直す必要はありません。**
ビデオ4入力端子としてビデオデッキなどをつないでいた代わりに、新たにBSデコーダー（WOWOW）をつなぎ直したときは、設定し直してください。

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「デコーダー/ビデオ」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「デコーダー」を選び、決定ボタンを押す。**
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

WOWOWを見るには

BSデコーダー（WOWOW）の電源を入れて、テレビのリモコンのBS5ボタンを押す。

St.GIGAを聞くには

BSデコーダー（WOWOW）をつないでいるときにSt.GIGAを聞くときは、BSデコーダー（WOWOW）側で、音声を独立音声に切り換えてください（テレビで音声は切り換えられません）。ただし、St.GIGAを聞くには、WOWOWとは別に受信契約が必要です（ノンスクランブル放送のときを除く）。
St.GIGAを聞くときは、必ず外部入力オートシャットオフを「切」に設定してください（**☞24ページ）。**
また、BSデコーダー（WOWOW）をつながなくても、St.GIGAがノンスクランブルで放送しているときは、下記の操作を行うとSt.GIGAを聞くことができます。

1. **テレビのリモコンのBS5ボタンを押す。**
2. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
3. **↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「TV/独立音声」を選び、決定ボタンを押す。**
6. **↑/↓で「独立」を選び、決定ボタンを押す。**
7. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

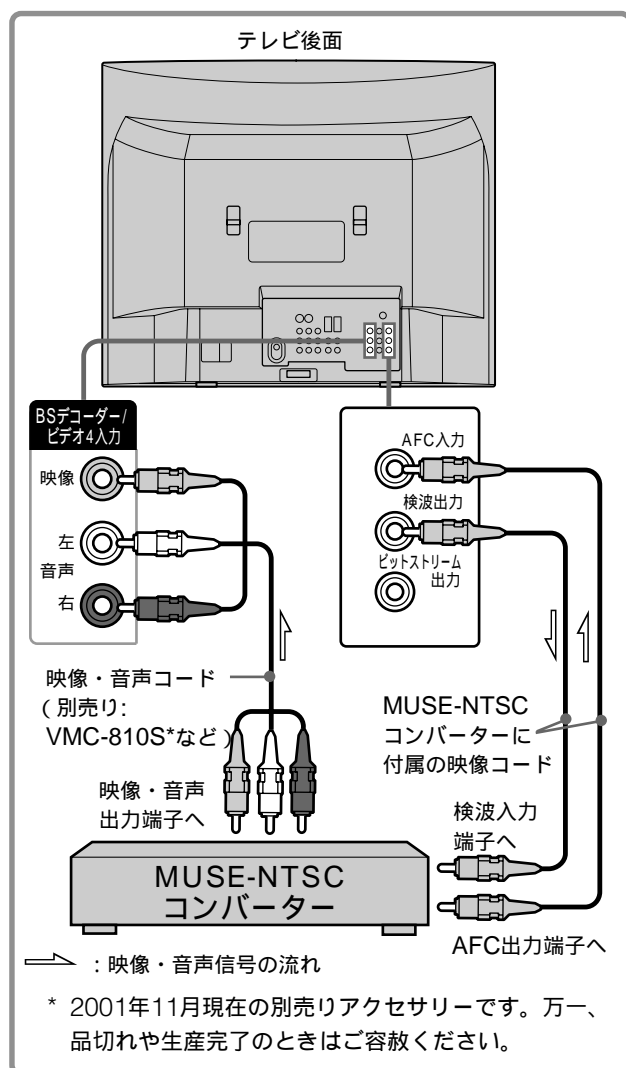
ちょっと一言
2001年8月現在、St.GIGAはBS5チャンネルでのみ放送されています。

MUSE-NTSC コンバーターをつなぐ

通常のテレビ放送と同等の画質（NTSC）で、ハイビジョン放送を見られます。
MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書も必ずご覧ください。

テレビのリモコンのBS9ボタンでハイビジョン放送を見るには

BSデコーダー（WOWOW）をつながないときは、以下の接続と設定をしてください。テレビのリモコンのBS9ボタンで、ハイビジョン放送を見ることができます。
MUSE-NTSCコンバーターとBSデコーダー（WOWOW）の両方をつなぐときは、☞55ページをご覧ください。

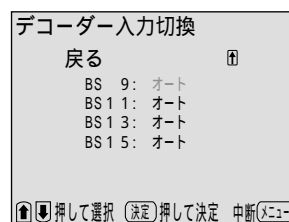
* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

1 テレビでBS放送を映す。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「BS9」を選び、決定ボタンを押す。
「BS9」は、↓を押し続けると出てくる画面にあります。

7 ↑/↓で「デコーダー」を選び、決定ボタンを押す。

8 ↑/↓で「BS5」を選び、決定ボタンを押す。

9 ↑/↓で「テレビ」を選び、決定ボタンを押す。

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

11 MUSE-NTSCコンバーターで、画面モードを「フル」にする。
MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書もご覧ください。

12 テレビのリモコンのBS9ボタンを押す。
ハイビジョン放送が映ります。

ちょっと一言

- お買い上げ時「デコーダー入力切換」は、すべてのBSチャンネルとも「オート」に設定されています。「オート」にすると、デコーダー入力端子につないだ機器から入るWOWOWなどBS放送のスクランブルを、自動的に判別して映します。
- メニューの「高密ワイド」は「オート」にしておいてください（☞13ページ）。「高密ワイド」が「切」になっているとハイビジョン放送は横縦比4:3の画像で映ります。

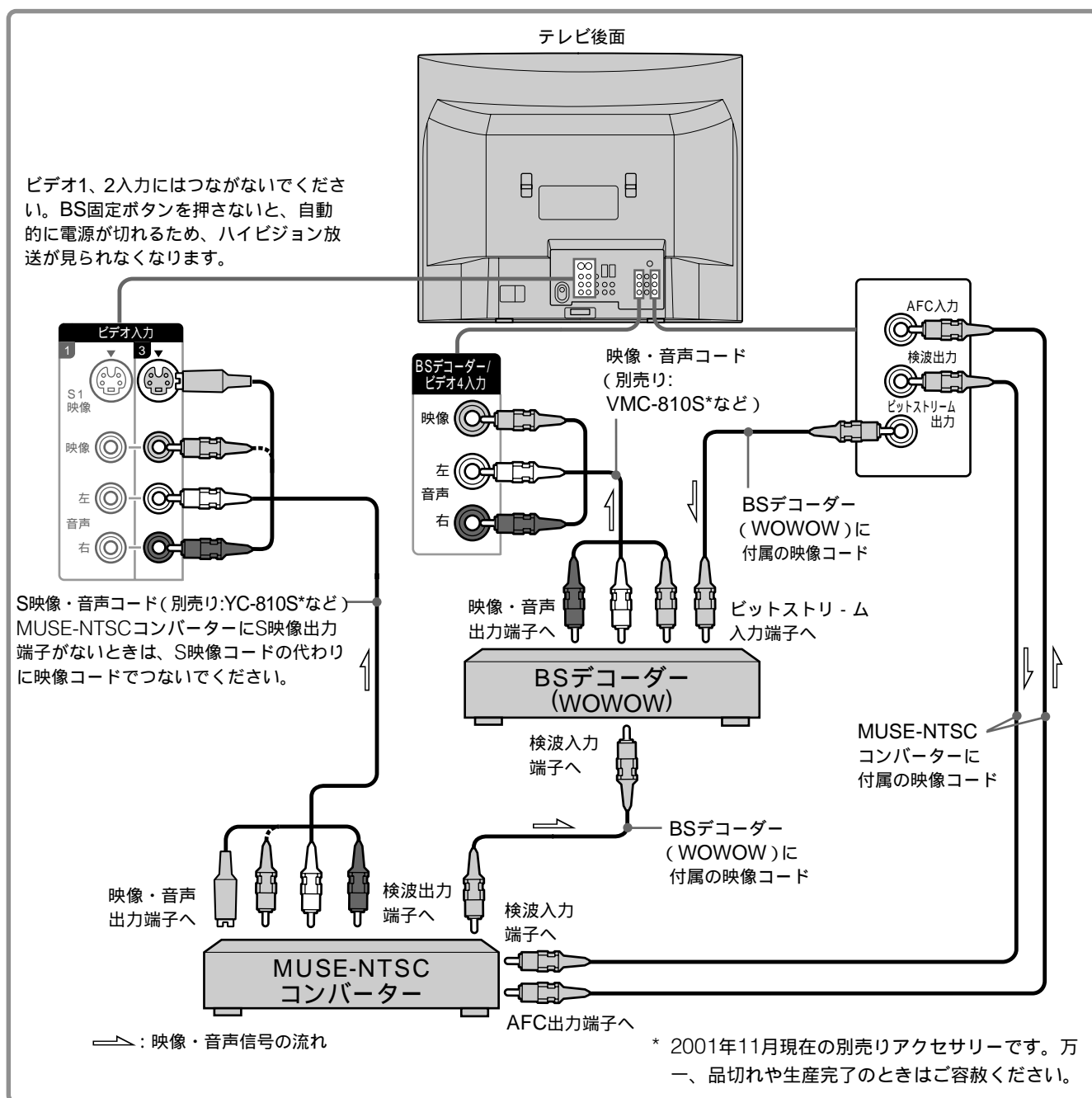
MUSE-NTSCコンバーターとBSデコーダー（WOWOW）の両方をつなぐときは

以下の接続をしてください。また、MUSE-NTSCコンバーターとBSデコーダー（WOWOW）の取扱説明書を必ずご覧ください。

ご注意

この接続では、テレビのリモコンのBS9ボタンを押しても、ハイビジョン放送は映りません。MUSE-NTSCコンバーターがビデオ入力端子に接続されているためです。

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

ハイビジョン放送を見るには

1 **テレビのリモコンのBS9ボタンを押す。**

2 **「ビデオ3」を表示させる（☞15ページ）。**

3 **MUSE-NTSCコンバーターで、画面モードを「フル」にする。**

詳しくは、MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- メニューの「高密ワイド」は「オート」にしておいてください（☞13ページ）。「高密ワイド」が「切」になっているとハイビジョン放送は横縦比4:3の画像で映ります。
- ビデオ1、2入力端子にMUSE-NTSCコンバーターをつないだときは、手順1でBS9チャンネルを選んだ後、必ずBS固定「入」にし、入力を「ビデオ1」または「ビデオ2」に切り換えてください。BSチューナーの電源が自動的に切れるため、ハイビジョン放送が見られなくなります。

"プレイステーション 2"、"プレイステーション"(PS one)および"プレイステーション"をつなぐ

"プレイステーション 2"、
"プレイステーション"(PS one)および
"プレイステーション"の取扱説明書もあわせて、お読みください。

ご注意

"プレイステーション 2"の一部の機種では、マルチAVケーブル(VMC-AVM250*)で接続し、DVDビデオを再生した場合、出力信号(RGB)がコンポーネント映像信号(Y Cb/Pb Cr/Pr)に固定されるため、画面が乱れることがあります。このテレビのAVマルチ入力端子は、コンポーネント映像信号に対応していますが、「ゲーム切換」が「AVマルチ(ゲーム)RGB」に選択されているとDVDが正しく再生されません。ゲーム切換ボタンをくり返し押して、「AVマルチ(ゲーム)Y/CB/CR」を表示させ、入力を切り換えてください。
詳しくは、"プレイステーション 2"本体の取扱説明書をご覧いただくか、下記にお問い合わせください。

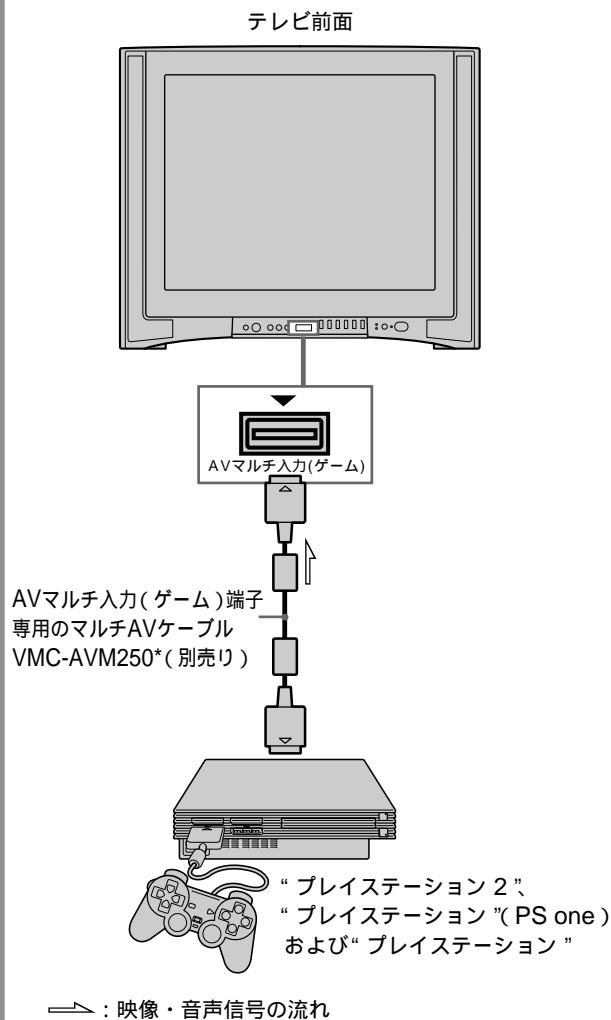
株式会社　ソニー・コンピュータエンタテインメント
インフォメーションセンター
ナビダイヤル 0570-000-929
携帯電話・PHSでのご利用は 03-3475-7444
受付時間:10:00〜18:00(土日祝日を除く)

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

別売りのマルチAVケーブルでつなぐときは

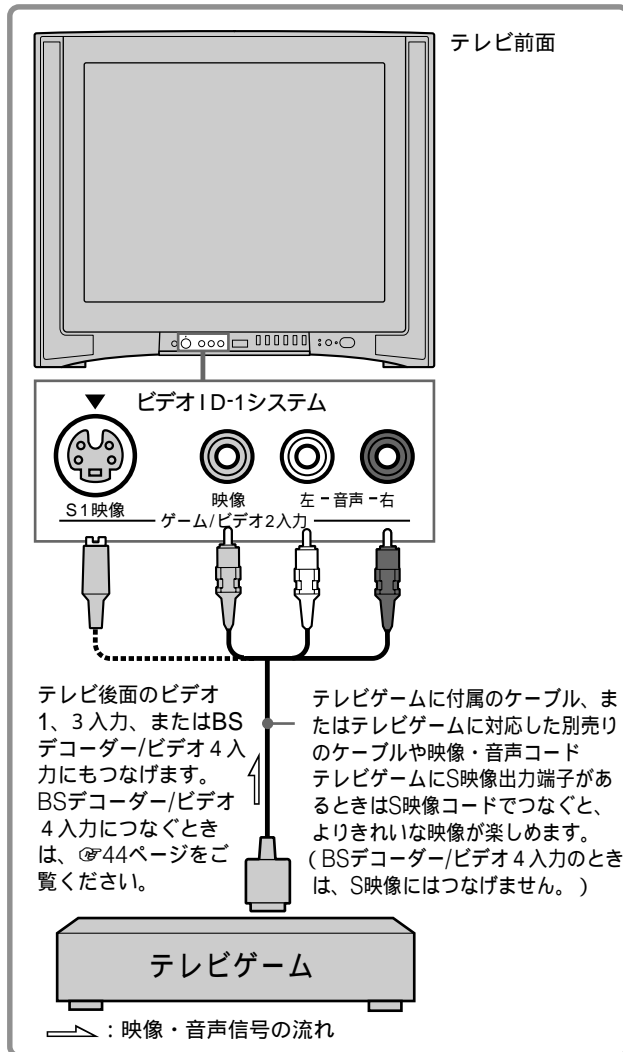
RGB接続、またはY/CB/CR接続になり、高画質な画像でゲームを楽しめます。

ご注意

ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB、Y/CB/CR映像信号に適していないものもあります。

"プレイステーション 2"、"プレイステーション"(PS one)および"プレイステーション"を使うには

ゲーム切換ボタンをくり返し押して、
"プレイステーション 2"、
"プレイステーション"(PS one)および
"プレイステーション"をつないだ入力(「AVマルチ(ゲーム)RGB」または「AVマルチ(ゲーム)Y/CB/CR」)を表示させる。
詳しくは、☞16ページをご覧ください。

その他のテレビゲームなどをつなぐ

テレビ前面のビデオ2入力端子にテレビゲームをつなぎます。テレビゲームの取扱説明書もあわせてお読みください。

テレビゲームをするには

ゲーム切換ボタンをくり返し押して、テレビゲームをつないだ入力（「ゲーム」）を表示させる。
詳しくは、☞16ページをご覧ください。

DVDプレーヤーをつなぐ

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーはテレビのコンポーネント入力端子につなぐと、より高画質の画像をお楽しみいただけます。
DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

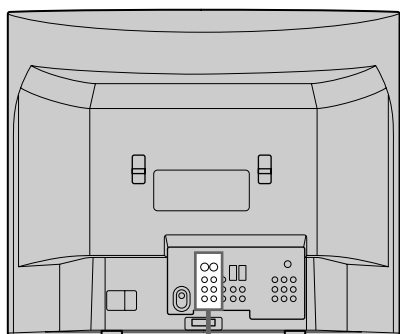
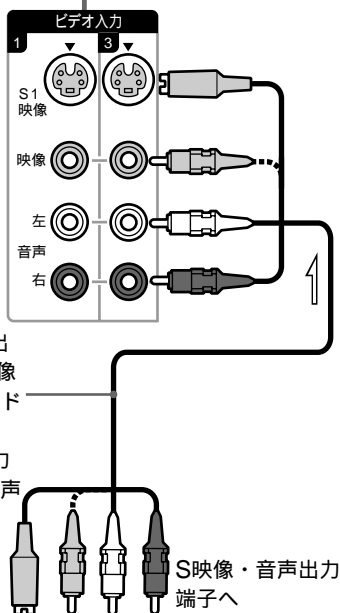
他機との接続

次のページにつづく

DVDプレーヤーをつなぐ（つづき）

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

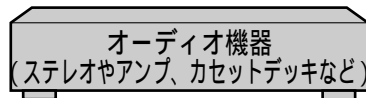
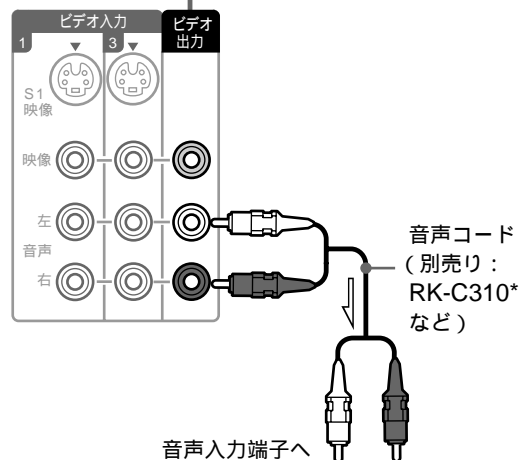
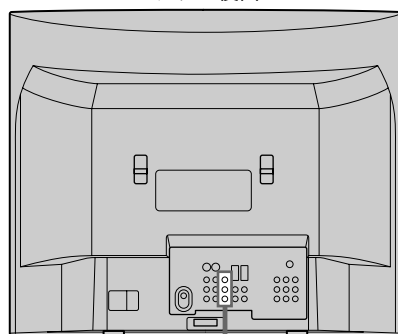
コンポーネントボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント1（D端子）」、「コンポーネント2（D端子）」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞15ページをご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

入力切換ボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ4」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞15ページをご覧ください。

オーディオ機器をつなぐ

つないだオーディオ機器でテレビの音量を調整したり、つないだスピーカーからテレビの音声を聞いたりできます。
オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

* 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

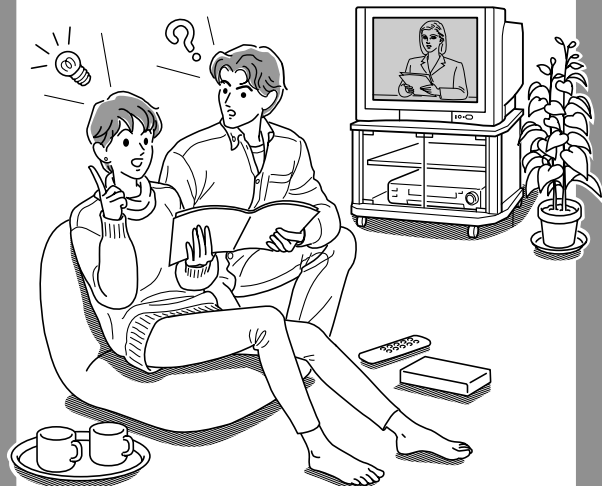
ご注意

- コンポーネント入力につないだ機器の音声信号も出力できます。ただし、映像信号は出力されません。
- 音声信号だけを聞くときは、必ず「外部入力オートシャットオフ」を「切」にしてください（☞24ページ）。

ちょっと一言

お買い上げ時は、ビデオ1入力につないだ機器の映像および音声信号は出力しない設定になっています。ビデオ1入力につないだ機器の映像および音声を出力するときは、メニューの「初期設定」で、「ビデオ出力設定」を「ビデオ1あり」にしてください（☞44ページ）。

その他

ここでは、テレビが正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。
また、各部の名前や索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

テレビ本体の型名：

KV-21DS55, KV-25DS55, KV-29DS55（ケーブイ ディーエス）

画面サイズ（番号）がどれかわからないときは、保証書に記載されている型名をお知らせください。

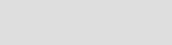
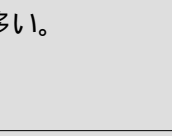
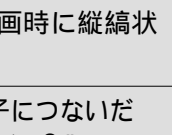
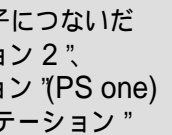
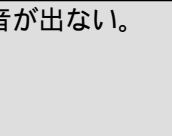
リモコンの型名：

RM-J248（アールエム ジェイ）

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

自己診断表示ー画面が消え、スタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら

このテレビには自己診断表示機能がついています。これはテレビに異常が起きたときに、スタンバイ/オフタイマーランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。ご相談の内容によっては、修理が必要な場合があります。

1 スタンバイ/オフタイマーランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。
2 テレビ本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いてから、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅回数を知らせてください。

次のページにつづく

本機の症状と対処のしかた

症状		対処のしかた
画像が出ない	**すべてのチャンネルが映らない。**	● 電源コードをしっかりつないでください。 ● テレビ本体の電源を入れてください。 ● アンテナ線をしっかりつないでください。
	特定のチャンネルだけが映らない。	● チャンネルを合わせ直してください（☞32ページ）。
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた（スタンバイ状態になった）。	● テレビの消し忘れを防ぐため、放送終了後、または放送のないチャンネルを受信している状態や、つないだ機器からの入力信号がない状態で約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイ状態になります。 ● オーディオ機器やラジオ、St.GIGAなどの音声信号だけを聞くときは、必ずメニューの「設定」の「初期設定」で「外部入力オートシャットオフ」を「切」にしてください（☞24ページ）。 ● オフタイマーを設定していませんでしたか？（☞23ページ）。
	つないだ機器の画像が出ない。	● 接続コードをしっかりつないでください。 ● リモコンの入力切換用のボタンを押してください（☞15～17ページ）。
BS放送が映らない／乱れる	**BS放送が映らない/画像が乱れている。**	**マンションなどの共同受信システムの場合** ● メニューの「設定」の「BS設定」で「BSアンテナ電源:切」にしてください（☞35ページ）。 ● サテライト分波器でVHF/UHFとBSを分けてください（☞29ページ）。 ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 **BSアンテナを直接つないでいる場合** ● メニューの「設定」の「BS設定」で「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてください（☞35ページ） ● BSアンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 ● アンテナの大きさが適切かを確認してください。 ● アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 ● アンテナの方向・角度を調整してください（☞36ページ）。 **複数のBS機器をサテライト分波器でつないでいる場合** ● BSアンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。 **その他** ● BSの放送時間を確認してください。 ● 雨や雪が降ると、映りが悪くなることがあります。 ● BS専用のケーブルを使ってください（☞30ページ）。 ● アンテナコネクター（バルーン）を使っていないかを確認してください。 ● メニューの「設定」の「BS設定」で「デコーダー入力切換」を確認してください（☞38、54ページ）。 ● WOWOWなどのスクランブル放送でないかを確認してください。
	BS放送のチャンネルが切り換わらない。	● BS固定にしていないかを確認してください（☞22ページ）。
	WOWOWが映らない。	● WOWOWを見るには、WOWOWと受信契約が必要です。詳しくはWOWOWへお問い合わせください。 ● BSデコーダー（WOWOW）は、テレビのBSデコーダー/ビデオ4入力端子につないでください。

症状		対処のしかた
BS放送が映らない／乱れる	WOWOWが映らない。（つづき）	● メニューの「設定」の「BS設定」の「デコーダー/ビデオ」を「デコーダー」にしてください（☞53ページ）。 ● メニューの「設定」の「BS設定」の「デコーダー入力切換」で、BS5チャンネルを「オート」または「デコーダー」にしてください（☞38ページ）。
きれいに映らない	画像が二重、三重になる。	● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● アンテナの位置、方向、角度を調整してください。
	雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	● アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 ● アンテナの寿命を確認してください（通常3〜5年、海辺では1〜2年）。
	斑点や点模様が走る。	● ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
	色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	● 明るさ設定ボタンを押して、画質設定を選んでください（☞10ページ）。 ● メニューの「画質/音質」で画質を調整してください（☞18ページ）。 ●「消費電力:減」のときは、画面が暗くなります（☞12ページ）。
	画面がまぶしい。	● 明るさ設定ボタンを押して、画質設定を選んでください（☞10ページ）。
	画面の一部に色むらがある。	● テレビをマンションの壁、金属スタンド、ビデオデッキまたはスピーカーなどから離して置いてください。 ● テレビをしばらく見た後、テレビの向きを変えると色むらが発生することがあります。このときは、地磁気の影響を受けています。1度電源を切り、約30分後にテレビを見る向きにしてから電源を入れ直すと、自動消磁回路が働き、地磁気の影響が軽減されます。
	画像が傾いている。	● メニューの「画像傾き補正」で「傾き補正／回転」と「傾き補正／上下」を調整してください（☞31ページ）。 ● 高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、磁界の影響のためうまく補正されないことがあります。このときは、ソニーサービス窓口またはお買い上げ店などにご相談ください。 また、テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーからテレビを離して置いてください。
	縞状のノイズが多い。	● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
	ビデオの再生/録画時に縦縞状のノイズが出る。	● ビデオヘッドが干渉しています。できるだけビデオをテレビから離して置いてください。
	AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション 2”、“プレイステーション”(PS one)および“プレイステーション”の画像がずれる。	● ゲーム切換ボタンで切り換えた「AVマルチ（ゲーム）RGB」、「AVマルチ（ゲーム）Y/CB/CR」のときは、メニューの「ゲーム画面位置」で調整してください（☞17ページ）。
音が出ない／雑音が多い	画像は出るが、音が出ない。	● 音量が下がりきっていないか確認してください。 ● 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか、音量+ボタンを押して表示を消してください。 ● ヘッドホンを抜いてください。 ● オーディオ機器やラジオ、St.GIGAなどの音声信号だけを聞くときは、必ずメニューの「設定」の「初期設定」で「外部入力オートシャットオフ」を「切」にしてください（☞24ページ）。

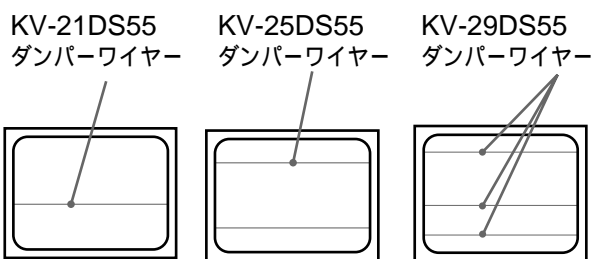
次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状		対処のしかた
音が出ない／雑音が多い	**雑音が多い**	• アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 • テレビ放送など通常の音質のときはリモコンのサラウンドボタンで「サラウンド　切」にしてください（☞11ページ）。 • メニューの「設定」の「初期設定」で「オートステレオ」を「切」にしてください（☞21ページ）。
表示が消えない	**「BSアンテナ電源を確認してください」の表示が消えない。**	• マンションなどの共同受信システムのときは、メニューの「設定」の「BS設定」で「BSアンテナ電源」を「切」にしてから、いったんテレビの電源を切ってください（☞35ページ）。 • BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナのアンテナ線がショートしています。テレビ本体の電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。
画面が切り換わる／つぶれて見える	**「高密ワイド」が「オート」のときに画面モードが勝手に切り換わる。**	• 横縦比の信号（D1映像入力端子からのBSデジタル放送やID-1/S1方式）が入った映像は、自動判別して、縦方向を圧縮した横縦比16:9のワイド画面にするためです。
	「高密ワイド」が「入」のときに画面がつぶれて見える。	• 通常のテレビやBS放送など横縦比4:3の映像で、「高密ワイド」を「入」にすると、縦方向に圧縮されて不自然に見えることがあります。メニューの「設定」の「初期設定」で「高密ワイド」を「オート」にしてください（☞13ページ）。 • ワイドクリアビジョン放送や上下に黒帯が入っている横長の映画などのワイド画像のときは、横縦比の信号が含まれていないため、従来から入っていた黒帯部分まで縦方向に圧縮されて、よりつぶれた映像になるためです。メニューの「設定」の「初期設定」で「高密ワイド」を「オート」または「切」にしてください（☞13ページ）。
テレビから異音がする	**「ピシッ」というきしみ音が出る。**	• 周囲の温度変化でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、テレビに影響はありません。
	電源を入れたときにブーンという音がする。	• 地磁気などの影響を取り除く消磁回路の動作音で、テレビに影響はありません。
	テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする。	• テレビ内部で発生する静電気が原因で、テレビに影響はありません。
画面が一瞬光る	**暗い部屋で電源を入れたときに、画面周辺が一瞬光って見える。**	• ブラウン管内で、電源が入る際に発生する高電圧のために、ブラウン管内の蛍光部が光るためです。テレビの性能その他に影響はありません。
リモコンが働かない	**リモコンで操作できない。**	• 電池を交換してください。 • 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 • テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯していないときは、テレビ本体の電源スイッチを押してください。 • リモコンをリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 • リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、離して置いてください。

症状		対処のしかた
リモコンが働かない	**リモコンのチャンネル数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。**	**ダイレクト選局の場合**（☞38ページ） ● メニューの「設定」の「テレビ設定」の「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 10**キー選局の場合**（☞38ページ） ● メニューの「設定」の「テレビ設定」の「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 ● 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑫/選局を押してください。 ● チャンネル数字ボタンに続けて⑫/選局を押してください。

画面に細い横線が出たら（ダンパーワイヤー）

画像によっては、極めて細い水平線が見えることがあります。これは、ダンパーワイヤーと呼ばれる線材の影で、位置は下図に示されているとおりです。ダンパーワイヤーはトリニトロン管内部のアパチャーグリルの振動を抑えるために取り付けられており、より高画質な映像をお楽しみいただけるように工夫されたものです。

ブラウン管表面のお手入れについて

ブラウン管表面が汚れているときは、市販のガラスクリーナー、または研磨剤の入っていない中性洗剤を水で薄め、柔らかい布に含ませ固く絞ってから、拭き取ってください。
表面を傷つけることがあるため、固い布の使用や、から拭きはやめてください。また、塩素系や塩酸などの酸性洗浄液や、クレンザーや歯磨粉など研磨剤入りの洗浄剤も使わないでください。

保証書とアフターサービス

このテレビは日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。
その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
型名：KV-21DS55、KV-25DS55、KV-29DS55
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
受信チャンネル　VHF 1〜12チャンネル
UHF 13〜62チャンネル
CATV C13〜C35（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）
BS1、3、5、7、9、11、13、15
ブラウン管*　KV-21DS55:FDトリニトロン90度偏向21型
KV-25DS55:FDトリニトロン104度偏向25型
KV-29DS55:FDトリニトロン104度偏向29型
* テレビの型（21型など）は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
画面寸法　KV-21DS55:40.8×30.5、50.7cm対角
KV-25DS55:47.8×35.8、59.7cm対角
KV-29DS55:54.0×40.5、67.5cm対角
（幅×高さ、対角径）
使用スピーカー　KV-21DS55、KV-25DS55:5×9cm（2）
KV-29DS55:5.5×13.5cm（2）
音声出力　実用最大:3W×2（JEITA）

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF、BS IF 75Ω F型コネクター（コンバーター用電源出力、DC15V最大4W）
ビデオ1、3入力端子、ゲーム/ビデオ2入力端子
S1映像:4ピンミニDIN
Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C:0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像:　ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声:　ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス 47kΩ
BSデコーダー/ビデオ4入力端子
映像:　ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声:　ピンジャック、2チャンネル、500mVrms
入力インピーダンス 47kΩ
コンポーネント1、2入力端子
D1映像:
Y:1Vp-p（0.3V負同期付き）
CB/CR:±350mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声:　ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス 47kΩ以上
AVマルチ入力（ゲーム）端子
12ピン
ビデオ出力端子、BS出力端子
映像:　ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声:　ピンジャック、2チャンネル、500mVrms
インピーダンス 4.7kΩ以下
テレビ放送の音声の100%変調時、またはBS放送の最大出力　–12dB時の数値です。
ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス16Ω以上
検波出力端子　ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p
ビットストリーム出力端子
ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
AFC入力端子　ピンジャック、75Ω

電源部・その他

消費電力　KV-21DS55:94W
リモコン待機時 0.07W
（ただし、BS固定「入」時は 5.5W）
KV-25DS55:125W
リモコン待機時 0.07W
（ただし、BS固定「入」時は 5.5W）
KV-29DS55:130W
リモコン待機時 0.07W
（ただし、BS固定「入」時は 5.5W）
年間消費電力量**
KV-21DS55:94kWh/年
KV-25DS55:131kWh/年
KV-29DS55:136kWh/年
** 年間消費電力量とは:省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4〜5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法　KV-21DS55:55.9×45.4×48.2cm
KV-25DS55:65.0×51.7×46.5cm
KV-29DS55:76.5×57.8×49.2cm
（幅×高さ×奥行き）
質量　KV-21DS55:約26.6kg
KV-25DS55:約36.7kg
KV-29DS55:約47.0kg
電源　AC100V、50/60Hz
付属品　リモートコマンダー　RM-J248（1）
乾電池　単3形（2）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために（1）
安全点検のおすすめ（1）

別売りアクセサリー

テレビスタンド　KV-21DS55:SU-FV21***
KV-25DS55:SU-FV25***
KV-29DS55:SU-S29DX***、SU-FV29***
ステレオヘッドホン　MDR-AV305***
BSアンテナなど
AVマルチ入力（ゲーム）端子専用のマルチAVケーブル VMC-AVM250***
接続ケーブルなど

*** 2001年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- WOWとTruSurroundと（●）記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
WOWとTruSurround技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスにより製品化されています。
- このテレビは米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。
BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

アンテナレベル

アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

インターレース（飛び越し走査）

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。

カ行

ケーブルテレビ（CATV）

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

検波

放送衛星から送られてくるFM電波を復調することです。

サ行

スクランブル

映像、音声の信号を暗号化することです。民間BS放送（WOWOWなど）では、契約者以外は視聴できないように、電波にスクランブルをかけて（暗号化して）送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、スクランブルを解除する機器（デコーダーなど）が必要です。

走査線

テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ行

チューナー

電波を受信して各チャンネルに合わせるための機器です。このテレビはテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

デジタルCS放送

通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

独立音声放送

民間BS放送（St. GIGAなど）の中には、1つのチャンネルで映像の音声とは別に、音声だけの放送が行われている場合があります。これが独立音声放送です。

ハ行

ビットストリーム

BS放送で送られてくる電波のデジタル信号（音声とデータ）です。データ信号は、文字放送などに使われています。

プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1フィールド目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフィールドも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

ヤ行

有効走査線数

走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。通常のテレビ放送やBS放送では、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。なお、有効走査線数に含まれていない残りの走査線（映像信号の載っていない走査線）には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

数字・アルファベット順

BSデコーダー（WOWOW）

WOWOWなど民間BS放送の電波にかかったスクランブルを解除する機器です。

BSデジタル放送

2000年12月から本放送が開始された放送衛星を使って、デジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送、CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。
BSデジタル放送を受信するには、別途BSデジタルチューナーが必要となります。

D端子

BSデジタル放送などに対応したコンポーネント映像端子です。BSデジタル放送受信アダプターなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。このテレビにはD1入力端子が付いています。

- D1端子:525i（480i）の信号に対応
- D2端子:525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子:525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子:525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

ID-1方式（ビデオID-1システム）

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。このテレビはID-1方式に対応しています。

MUSE-NTSC（M-N）コンバーター

MUSE方式のハイビジョン放送を現行の放送方式（NTSC）に変換するための機器です。画質は現行の放送方式（NTSC）と同等になります。

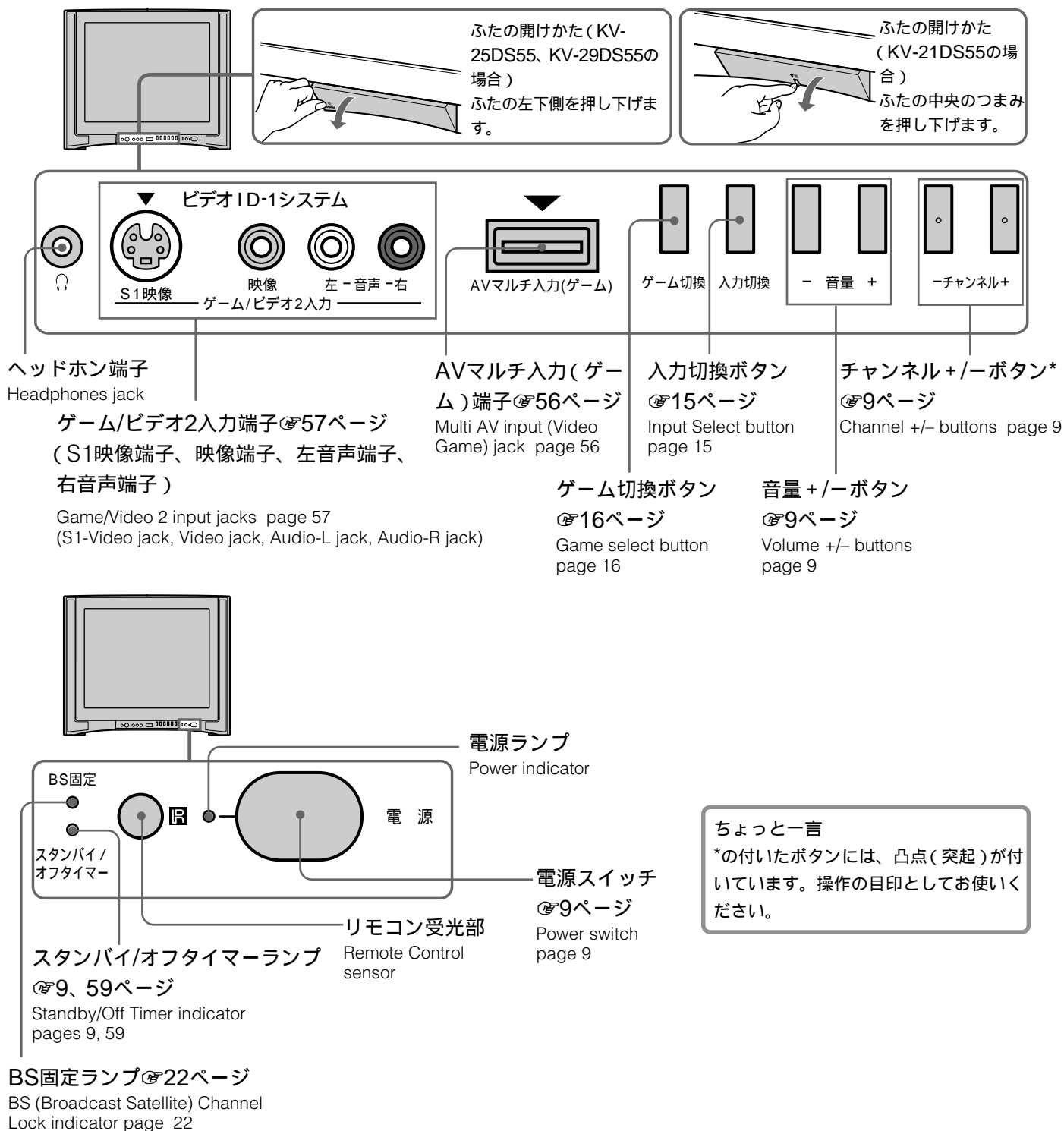
NTSC方式

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式で、毎秒30コマ、水平走査線数525本などが特長です。アメリカの連邦テレビジョン方式委員会（National Television System Committee）が制定し、1954年に放送が正式に開始されました。欧州や中国などで使われているPAL方式やSECAM方式とは互換性がありません。

S1方式（S1映像）

S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより、画面の横縦比（16:9または4:3）の情報を記録するシステムの名前です。このテレビはS1方式に対応しています。S1映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、テレビのS1映像入力端子につなぐと、S1方式の画像となります。
ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

各部の名前/
Identifying parts and controls

テレビ前面/TV Front Panel

ヘッドホン端子
Headphones jack

ゲーム/ビデオ2入力端子☞57ページ
（S1映像端子、映像端子、左音声端子、右音声端子）
Game/Video 2 input jacks page 57
(S1-Video jack, Video jack, Audio-L jack, Audio-R jack)

AV**マルチ入力（ゲーム）端子**☞56ページ
Multi AV input (Video Game) jack page 56

入力切換ボタン
☞15ページ
Input Select button page 15

チャンネル＋/－ボタン*
☞9ページ
Channel +/– buttons page 9

ゲーム切換ボタン
☞16ページ
Game select button page 16

音量＋/－ボタン
☞9ページ
Volume +/– buttons page 9

電源ランプ
Power indicator

電源スイッチ
☞9ページ
Power switch page 9

リモコン受光部
Remote Control sensor

スタンバイ/オフタイマーランプ
☞9、59ページ
Standby/Off Timer indicator pages 9, 59

BS**固定ランプ**☞22ページ
BS (Broadcast Satellite) Channel Lock indicator page 22

ちょっと一言
*の付いたボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

リモコン/Remote Control

ちょっと一言

*の付いたボタン（チャンネル数字ボタンは「5」のみ）には、凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

その他

メニュー一覧

- メニューは↑/↓で選び、決定ボタンで決定します。
- ▶（カーソル）のある部分、または赤で表示される部分が選ばれています。

索引

五十音順

数字・アルファベット順

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル……………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
● Fax ……………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月〜金
9:00〜20:00
土・日・祝日
9:00〜17:00

http://www.sony.co.jp/

Printed in Malaysia

廃棄時にご注意願います。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管方式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。